

AMBEO サウンドバー システム SB02

マルチスピーカー ホーム シネマ システム

- AMBEO サウンドバー | プラス
モデル：SB02M, SB02MC
- AMBEO サウンドバー | ミニ
モデル：SB02S, SB02SC
- AMBEO Sub
モデル：SW02, SW02C



取扱説明書

i この取扱説明書には、最新のファームウェアバージョンに関するすべての情報が含まれています。ファームウェアの更新は、インターネットから無料で入手することができます (ページを参照してください 66)。

検索機能、ナビゲーション (左) または以下のリンクをご使用ください。

“Start ”

“ 製品概要 ”

“ 最初のステップ ”

“ サウンドバーと Sub の据付 ”

“ 装置をサウンドバーに接続する ”

“ サウンドバーを作動させる ”

“ サウンドバーを操作する ”

“ サウンドバーを使用する ”

“ サウンドバーのお手入れとメンテナンス ”

“ 技術仕様 ”

Sonova Consumer Hearing GmbH

Am Labor 1
30900 Wedemark
Germany

www.sennheiser-hearing.com

バージョン：05/23 A03

重要な安全情報



1. この安全に関する注意事項と製品の取扱説明書をよくお読みください。
2. 製品の安全情報取扱説明書を保管してください。他のユーザーに製品を譲渡するときは必ず安全情報ととりあ添えてください。
3. すべての警告を遵守してください。
4. 全ての指示を遵守してください。
5. 製品は水の近くでは使用しないでください。
6. 製品のお手入れの際は、電源から切り離してください。製品のお手入れは乾いた布でのみ行ってください。
7. 空気を十分に循環させてください。製品で発生する熱は、ハウジングを介して放出されます。取扱説明書の指示に従って製品を設置してください。
8. 製品を赤外線ヒータ、オーブン、直射日光やその他の熱を発生する機器の熱源の近くに置かないでください。
9. 取扱説明書および製品の下側に記載された仕様と一致する電源のみをご使用ください。製品は常に、保護接地付きのコンセントに接続してください。
10. 電源ケーブルは人に踏まれないように設置してください。特に、電源プラグ、コンセントや製品からの出口でケーブルがつぶされないようご注意ください。
11. Sonova Consumer Hearing の同梱されているまたは推奨されている付属機器 / アクセサリ / 交換部品を使用してください。
12. 製品は、必ず製品の重量に耐えられる棚、ラック、テーブルに乗せて使用してください (技術仕様ページを参照してください 70 を参照)。
13. 雷雨の場合や製品を長期間使用しない場合は、製品を電源から切り離してください。
14. 修理作業はすべて、資格のあるサービス担当者が行います。電源ケーブルが損傷した場合、液体や異物が製品の中に入ってしまった場合、製品が雨水や湿気にさらされた場合、正常に機能しない場合、落下させてしまった場合など、製品が損傷した場合は修理が必要です。
15. 警告 : 製品は水しぶきや水滴が掛からない場所に設置します。製品の上には、花瓶などの水が入った物を置かないでください。火傷や感電につながる危険があります。
16. 製品の電源を完全に切断するには、電源プラグをソケットから抜きます。
17. 電源ケーブルの電源プラグおよびコンセントは正常な状態で、容易に手が届くようにしておいてください。
18. 製品は、海拔 2000 m 以下で使用してください。

製品下面にある危険注意

以下の注意書きは、製品の下側に取り付けられています。



記号の意味は次のとおりです。



取扱説明書に記載されている安全に関する注意事項および取り扱いに関する指示をお読みの上、遵守してください。



製品内には感電する可能性がある危険な電圧がかかっています。

CAUTION / AVIS / 小心
Risk of electric shock, do not open
Risque de choc électrique, ne pas ouvrir
有电击风险 请勿打开

製品を決して開かないでください。通電部に触れると感電の危険があります。製品内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は、Sonova Consumer Hearing 正規取扱店に依頼してください。

健康被害と事故を防止するために

- ▷ 大音量での使用は避けてください。聴覚被害を防止するために、大音量で長時間使用しないでください。
- ▷ 本製品は、心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器 (ICD)、およびその他のインプラントの障害につながる可能性のある、非常に強力な永久磁場を発生します。磁石を含む製品コンポーネントはペースメーカー、埋め込み式除細動器、または他のインプラントから常に少なくとも 10 cm 以上離してご使用ください。
- ▷ 事故を防ぐため、製品、梱包、アクセサリーの部品は子供やペットの手が届かないところに保管してください。飲み込むと窒息する危険性があります。
- ▷ 特別な注意が必要な状況（手作業をしている時など）は本製品を使用しないでください。
- ▷ 製品で発生する熱は、ハウジングを介して放出されます。皮膚の炎症などを防止するために、製品の使用中や直後、長時間肌に接触させるのはおやめください。



製品の破損と故障を防止するために

- ▷ 製品を寒い場所から暖かい環境に移動させた場合は、使用を開始する前に少なくとも 2 時間お待ちください。

リチウムボタン型バッテリーの安全に関する注意事項 (コード: CR または Li)

ボタン型バッテリーは、リモートコントロール SB02-RC で使用します。



警告

バッテリーを正しく使用しないと、液漏れが発生するおそれがあります。極端な場合は、以下を招くおそれがあります。

- 爆発
- 高温や火災
- 煙および / またはガスの発生
- 健康被害および / または環境への影響

	バッテリーを飲み込んだ、または体の一部に入っていると 思われる場合は、直ちに医師に相談してください。
	バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。
	バッテリーを取り付ける際には極性にご注意ください。
	製品が故障していると思われる場合は、バッテリーを取り外してください。
	バッテリーは濡らさないでください。
	バッテリーを分解したり、変形させたりしないでください。
	長期間使用しない場合は、バッテリーを製品から取り外してください。
	充電したバッテリーは極が接触しないように保管します。 極の接触により短絡が生じる可能性があります。
	必ず Sonova Consumer Hearing が推奨するバッテリーを使用してください。
	製品は、涼しく、乾燥した場所に保管します (約 20 °C)。
	故障したバッテリーは決して使用しないでください。
	バッテリー温度が 70 °C を超えないようにしてください。 バッテリーを日のあたる場所に置いたり、火中に投げたりしないでください。
	使用済みバッテリーは、必ず収集所に廃棄するか、または専門業者までお持ちいただき、リサイクルにご協力ください。短絡を防止するため、バッテリーの電極を粘着テープで覆ってください。

データと収集と処理およびファームウェアのアップデートに関する注意事項

本製品は音量、サウンドおよび UI 設定 (LED 輝度など)、選択された入力と名称、ペアデバイスの Bluetooth アドレス、Wi-Fi 設定、使用データ (電源投入サイクルや稼働時間など) 等の個別の設定を保存します。これらのデータは製品を使用するために必要なもので、Sonova Consumer Hearing GmbH または同社の委託業者によって送信・処理されることはありません。

製品のファームウェアは、インターネット接続を介して無料で更新できます。製品がインターネットに接続されると、以下のデータが Sonova Consumer Hearing サーバーに自動的に転送・処理され、適切なファームウェアのアップデートが準備され、送信可能になります。MAC アドレス、IP アドレス。データは明記された用途にのみ使用され、恒久的に保管されることはありません。これらのデータの転送・処理を希望されない場合は、インターネットに接続しないでください。

規定に沿った使用 / 賠償責任

本製品は、ケーブル接続、Bluetooth、WiFi またはイーサネットを通じての TV 音および音楽の再生のために開発されました。本製品はご自宅での個人的用途向けです。商業用途向けではありません。

本製品は本取扱説明書に記載された以外の使い方をしないでください。Sonova Consumer Hearing GmbH は、接続された、USB 規格に適合しない機器の損傷には責任を負いません。製品やオプション機器・アクセサリの不正な使用や不適切な使用に起因する損害に対して、Sonova Consumer Hearing GmbH は一切の責任を負いません。

製品を使用を開始する前に、各国特有の規制に注意してください。

梱包に関する注意事項

製品を保護して保管し、安全に運ぶため、オリジナルの梱包資材を使用することを推奨しています。輸送時の損傷は、しばしば不適切な梱包資材の使用が原因で発生しています。オリジナルの梱包資材を使用することにより製品は最適に保護され、輸送時の損傷のリスクが最低限に抑えられます。

表記規則

この説明書で青く強調されているのは操作エレメントの表記および製品の接続部を指します。

例：

入力 OPTICAL IN

Sennheiser Smart Control App のユーザーインターフェースにあるメニュー名やボタン等英語で元々表記されているものは青で強調されており、その後に丸括弧で日本語訳を添えています。

例：

Calibrate now (今すぐキャリブレーション) ボタン

▷ 三角は操作指示を表します。

• 黒丸は箇条書きを表します。

1. 順序番号により複雑な操作の連続や箇条書きのオリエンテーションが容易になります。

警告の表記方法

この説明書で警告はこれがある節で説明されている状況において危険が発生しうる場合に節の冒頭にあります。

警告は以下の構成となっています：



シグナルワード

危険の種類と発生源！

警告を怠った場合の帰結。

▷ 危険の回避措置



警告マークは人への生命の危険および怪我する危険を表します。警告マークのない警告は物損について警告します。

シグナルワードにより危険の重度を表します：

シグナルワード	意味
警告	警告シグナルワードでは死亡または重傷につながる可能性がある危険について警告します。
注意	注意シグナルワードは怪我することもある危険について警告します。
注意	要注意シグナルワードは物損につながることもありうる状況について警告します。

危険の種類と発生源に関する記載事項は危険の種類および危険の発生源を説明します。

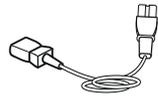
警告等を怠った場合の帰結に関する記載事項は警告を無視したり危険を回避しない場合に起きることを説明します。

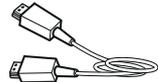
危険の回避措置に関する記載事項は危険の回避方法を説明します。

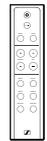
同梱されているもの

AMBEO サウンドバー | プラス

 AMBEO サウンドバー | プラス
モデル：SB02M, SB02MC

 電源ケーブル、国によって異なります、長さ約 1 m

 プレミアム High-Speed-HDMI® ケーブル、長さ約 1 m

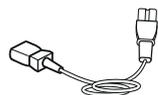
 リモコン モデル：SB02-RC (CR2032 セル電池 1 個含む)

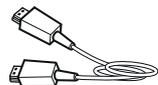
 クイックガイド

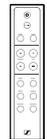
 安全に関する注意事項

AMBEO サウンドバー | ミニ

 AMBEO サウンドバー | ミニ
モデル：SB02S, SB02SC

 電源ケーブル、国によって異なります、長さ約 1 m

 プレミアム High-Speed-HDMI® ケーブル、長さ約 1 m

 リモコン モデル：SB02-RC (CR2032 セル電池 1 個含む)

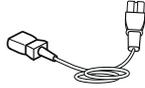
 クイックガイド

 安全に関する注意事項

AMBEO Sub



AMBEO Sub
モデル：SW02, SW02C



電源ケーブル、国によって異なります、長さ約 1 m

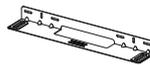


クイックガイド



安全に関する注意事項

ウォールマウント SB02-WM



サウンドバー | プラスとサウンドバー | ミニ用ウォールマウント



サウンドバーの固定ねじ (M4x16) 2 本



六角ソケットレンチ (HX 3)



組立説明書

オンラインで

- 詳細を記載した本取扱説明書およびその他の情報をご覧ください (www.sennheiser-hearing.com/download)
- AMBEO サウンドバー SB02 のセットアップとコントロール、さらに他の機能用の Sennheiser Smart Control App (www.sennheiser-hearing.com/smartcontrol)
- AMBEO サウンドバー SB02 の製品ページに記載のアクセサリ一覧は次のサイトをご覧ください
www.sennheiser-hearing.com/ambeo-soundbar-plus/
または
www.sennheiser-hearing.com/ambeo-soundbar-mini/
または
www.sennheiser-hearing.com/ambeo-sub/
(オンライン購入用、または国内の Sonova Consumer Hearing 正規取扱店にご連絡ください：
www.sennheiser-hearing.com/service-support)

製品概要

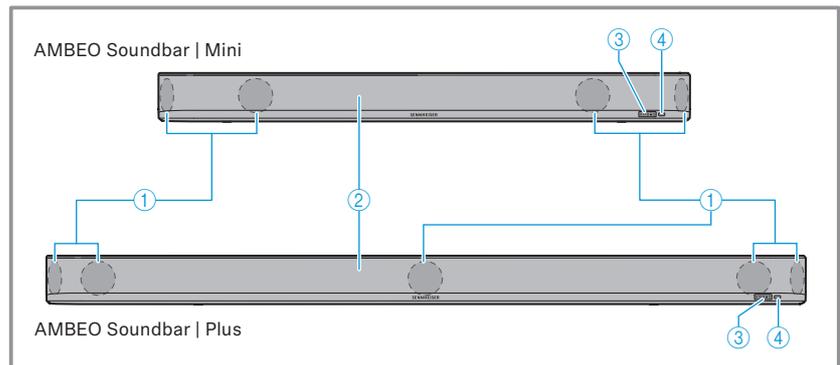
AMBEO サウンドバー | プラス

モデル：SB02M, SB02MC

AMBEO サウンドバー | ミニ

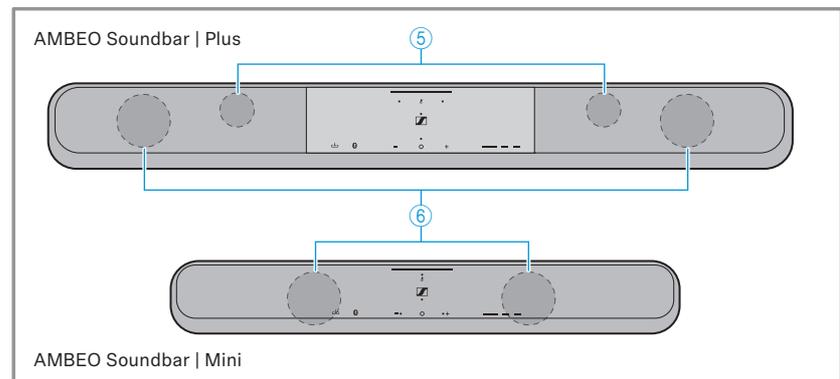
モデル：SB02S, SB02SC

前面



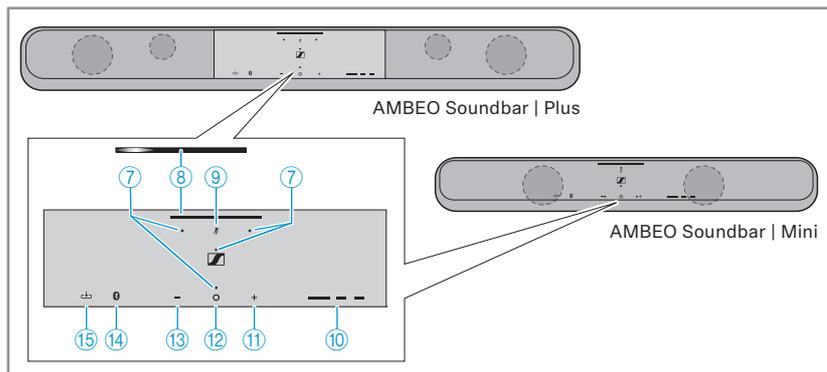
- ① 広帯域チューナー
- ② カバー (取外し不可)
- ③ AMBEO 表示
- ④ リモートコントロール SB02-RC 用赤外レシーバー

製品上面



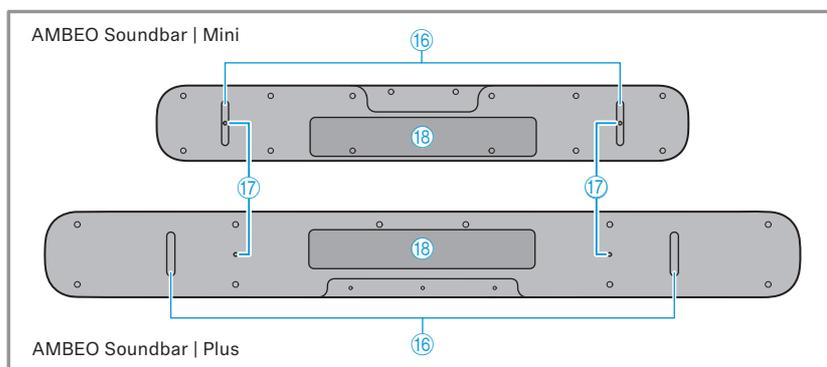
- ⑤ Top-firing 広帯域スピーカー
- ⑥ ウーファー

操作パネル



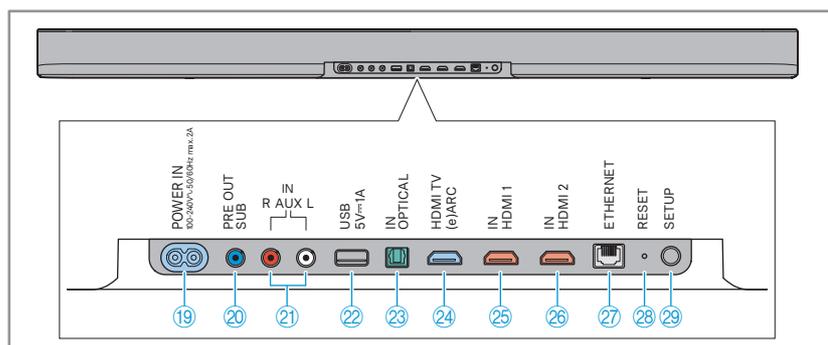
- ⑦ スペースキャリブレーションと音声アシスタント用マイク
- ⑧ LED ステータスバー
- ⑨ マイクと WiFi ステータス表示 LED 付き **Mic Mute** (マイクミュート) ボタン
- ⑩ アクティブコーデックの表示
- ⑪ 音量ボタン +
- ⑫ 多機能ボタン **o**
再生制御と ECO モードまたはアクションボタン Amazon Alexa (Alexa が有効な場合)
- ⑬ 音量ボタン -
- ⑭ **Bluetooth ボタン**
Bluetooth ペアリングモードにするには 3 秒押し続けます。
- ⑮ 接続されオンになっている機器を選択するための **Source** (ソース) 入力選択ボタン

製品下面



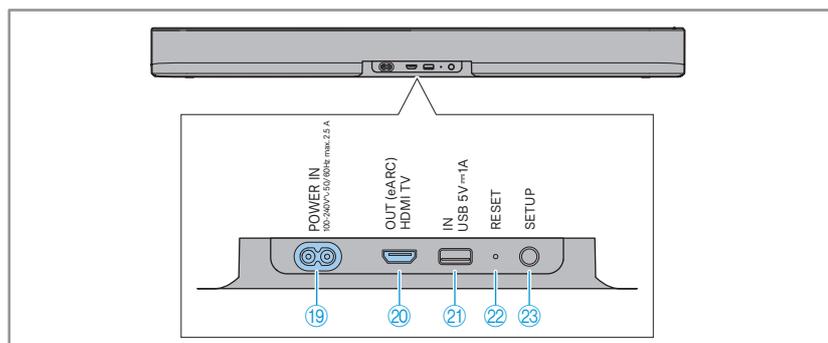
- ⑬ 振動を吸収するベース
- ⑭ ウォールマウント用取付けねじ SB02-WM (オプションのアクセサリ)
- ⑮ 型番プレート

AMBEO サウンドバー | プラスの入力部



- ①9 POWER IN (電源入) 電源ソケット
100 ~ 240 VAC、50/60 Hz、最大 2.5 A
- ②0 出力 PRE OUT SUB
アンプアウトプットステージ装備サブウーファースの接続用 RCA ソケット
- ②1 入力 AUX IN L / R
RCA ソケット アナログ オーディオソース用
- ②2 USB ソケット
タイプ A、5 V、? 1 A
更新専用
- ②3 入力 OPTICAL IN
S/PDIF 用、オプティカル
- ②4 HDMI TV (e)ARC ポート
HDMI 用
- ②5 入力 HDMI 1 IN
HDMI 用
- ②6 入力 HDMI 2 IN
HDMI 用
- ②7 ETHERNET (イーサネット) ポート
イーサネット対応、RJ45 用
- ②8 リセット ボタン
- ②9 セットアップ ボタン
WiFi 設定 (WiFi Protected セットアップ (WPS) の起動用に 3 秒間押し続けます) および AMBEO Sub の接続用 (1 回押し)

AMBEO サウンドバー | ミニ入力部

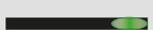
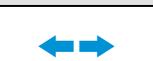


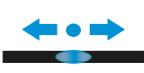
- ⑱ POWER IN (電源入) 電源ソケット
100 ~ 240 VAC、50/60 Hz、最大 2.5 A
- ⑳ HDMI TV (e)ARC ポート
HDMI 用
- ㉑ USB ソケット
タイプ A、5 V、? 1 A
更新専用
- ㉒ リセット ボタン
- ㉓ セットアップ ボタン
WiFi 設定 (WiFi Protected セットアップ (WPS) の起動用に 3 秒間押し続けます) および AMBEO Sub の接続用 (1 回押し)

サウンドバー表示の概要

i 表示の明るさは Sennheiser Smart Control App で調節可能です (ページを参照してください 51)。

LED ステータスバー

LED ステータスバー	意味
	左右からホワイトシーケンス システムが起動します
	左からホワイトステップ 入力切換え 入力の切換え時に LED ステータスバーが赤く点灯した場合、その他のアクティブな入力は利用できません。
	ブルー右 Bluetooth 入力
	ブルーシーケンス アクティブになります
	ホワイト右 ネットワークストリーミング入力
	グリーン右 ネットワークストリーミング「Spotify」(スポティファイ) 入力
	パープル右 ネットワークストリーミング「Tidal」(タイダル) 入力
	ホワイト点灯 再生スタート / ストップ
	ホワイト右へスワイプ 次のタイトルの再生
	ホワイト左へスワイプ 一曲前のタイトルの再生
	ホワイトを上か下へ 音量の増減
	レッド左 音量最低 / ミュート状態
	左右へのパープルシーケンス ナイトモード「Night」(ナイト) が有効 / 無効

LED ステータスバー		意味
	左右へのライトブルーシーケンス	音声モード「Voice」(ボイス)が有効 / 無効
	左右へのホワイトシーケンス	AMBEO Sub が接続されます
	ホワイトシーケンス	スペースキャリブレーションが実行されます
	ホワイトシーケンス	ファームウェア更新がインストールされます
	レッド / ホワイトシーケンス	工場出荷時設定リセット
	フォーカスありのブルーシーケンス	Alexa がアクションを実行

LED-Mic

LED-Mic		意味
	赤く点灯	マイクはオフ
 または 	ライトブルーまたはホワイト点滅 (最大 2 分)	サウンドバーに WiFi 設定が見つからない / WiFi と接続できない WiFi ホットスポット (http://192.168.255.249/) は利用可能です 最初にサウンドバーは Smart Control App で WiFi に接続します (ページを参照してください 39)
 3x	パープルが 3 回点滅	サウンドバーの音量ボタン + と音量ボタン - ではマイクがオフのためスペースキャリブレーションはできません。 (ミュートをキャンセルするにはサウンドバーの Mic Mute (マイクミュート) ボタンを押します)

LED アクティブコーデック

入力ソース (装置、ストリームコンテンツ、サウンドバーの使用中心力) がいずれかのコーデックをサポートしている場合のみ有効です。

LED アクティブコーデック		意味
	白く点灯	DOLBY ATMOS オン
	点灯せず	DOLBY ATMOS オフ
	白く点灯	DTS:X オン
	点灯せず	DTS:X オフ

LED アクティブコーデック		意味
	白く点灯	MPEG-H オン
	点灯せず	MPEG-H オフ

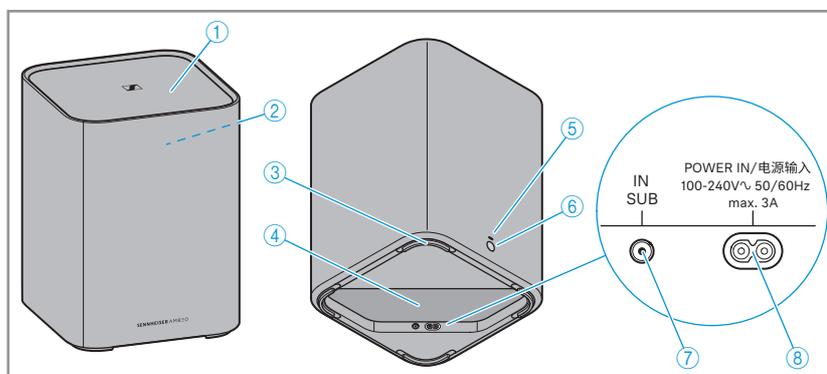
i その他の再生用オーディオコーデック (例えば Dolby Digital) は Sennheiser Smart Control App の [Codec](#) (ページを参照してください 51) メニューにあります。ここでは特定のコーデックの設定も調整可能です (ページを参照してください 57)。

LED AMBEO

LED AMBEO		意味
	白く点灯	AMBEO オン
	点灯せず	AMBEO オフ
	ホワイトが 1 回点滅	AMBEO 「Light」 (ライト) がオン
	ホワイトが 2 回点滅	AMBEO 「Standard」 (スタンダード) がオン
	ホワイトが 3 回点滅	AMBEO 「Boost」 (ブースト) がオン

AMBEO Sub サブウーファー

モデル：SW02, SW02C



- ① カバー (取外し不可)
- ② ウーファー (外からは見えません、上向き放射)
- ③ 振動を吸収するベース
- ④ 型番プレート
- ⑤ ステータス LED
- ⑥ セットアップ ボタン

- ⑦ 入力 **IN SUB** (イン・サブ)
サブウーファーアナログ信号用 RCA ソケット (サウンドバーとのワイヤレス接続ができないときのみ必要)
- ⑧ **POWER IN** (電源入) 電源ソケット
100 ~ 240 VAC、50/60 Hz、最大 3 A

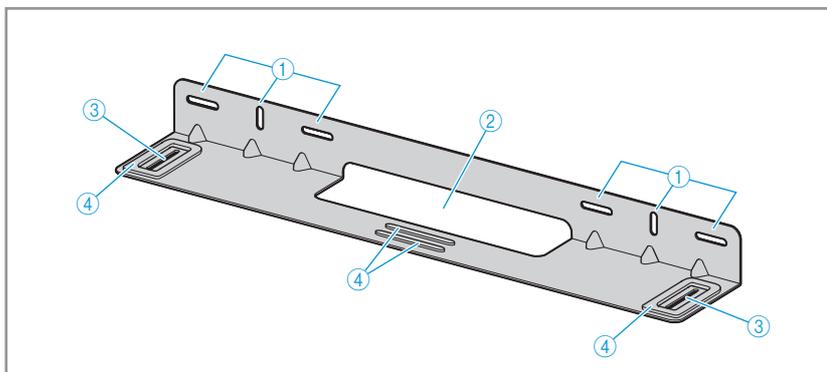
サブウーファー表示の概要

LED ステータス

ステータス LED	意味
	白く点灯 サブウーファーがオン、スタートでまたはサウンドバーとワイヤレス接続状態
	オフ スタンバイ / 電源接続なし
	イエローにパルス点灯 初期ペアリングモード、Sub はペアリングモードのサウンドバーを検索する
	白くパルス状点滅 接続モード、Sub はペアリング済みサウンドバーを検索する
	緑色に点灯 Sub がオン状態、Cinch ケーブルでサウンドバーと接続状態、ワイヤレス接続は無効
	ブルーにパルス点灯 スペースキャリブレーション有効
	ブルーが3回点滅 スペースキャリブレーション正常に終了
	オレンジ3回点滅 すべての接続設定が削除済み

ウォールマウント

モデル：SB02-WM

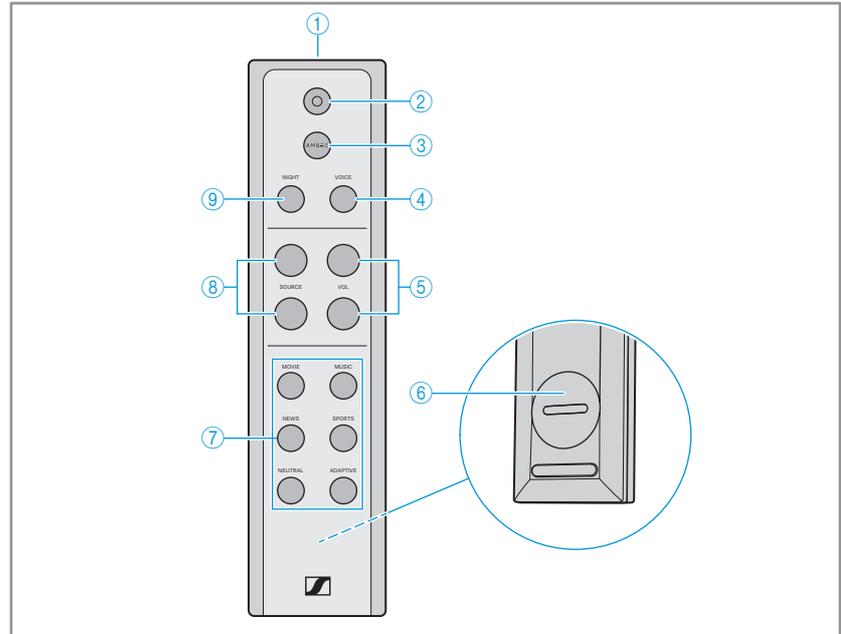


- ① ウォールマウント用開口部 (ボルト固定)
- ② ケーブル用開口部

- ③ M4x16 ボルトでサウンドバーを固定するための開口
- ④ 減衰エレメント

リモコン

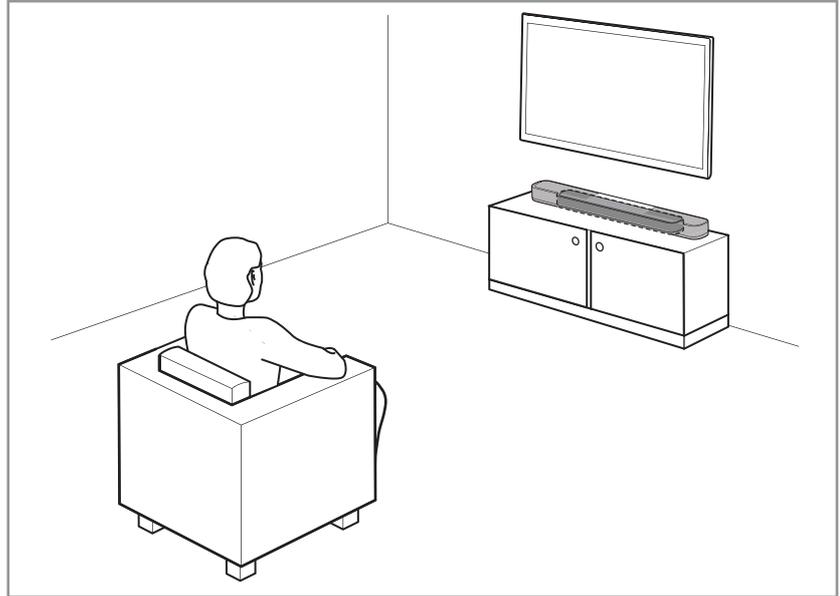
モデル：SB02-RC



- ① 赤外線送信ダイオード
- ② 多機能ボタン **o**
再生制御および ECO モードの有効化または Amazon Alexa のアクション ボタン (Alexa が有効な場合) の有効化用
- ③ AMBEO ボタン
AMBEO の有効化用
- ④ **Voice** (ボイス) モード ボタン
- ⑤ **+/-** の音量 ボタン
- ⑥ バッテリー収納部 (CR2032 1 個用)
- ⑦ サウンドプロファイル ボタン
Movie (映画)、**Music** (音楽)、**News** (ニュース)、**Sports** (スポーツ)、**Neutral** (ニュートラル)、**Adaptive** (アダプティブ)
- ⑧ **Source** (ソース) 入力選択ボタン
- ⑨ **Night** (夜間) モード ボタン

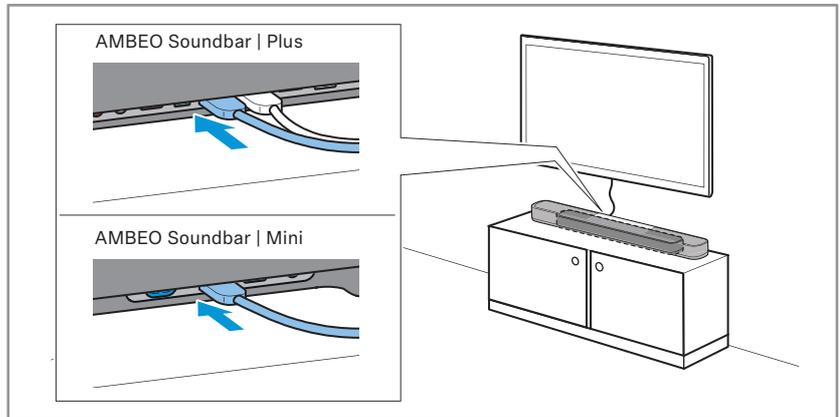
最初のステップ

1. サウンドバーの設置



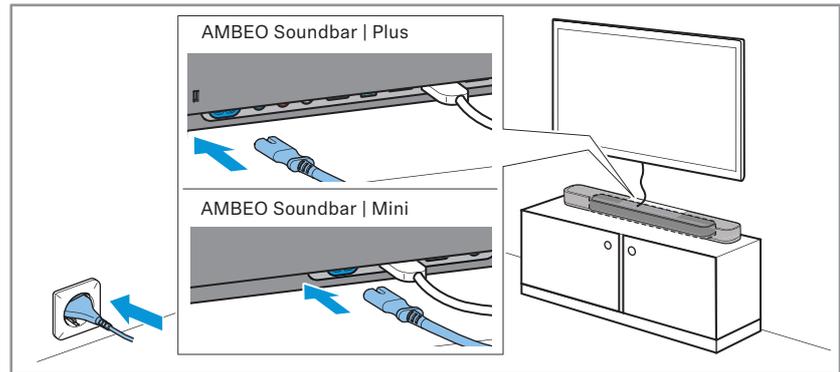
最適な音響効果を得るには AMBEO サウンドバーの正しい設置と構成が重要です。AMBEO サウンドバーを家具に立てたり (ページを参照してください 21) ホルダーで (オプションの付属品) 壁に直接取付ける (ページを参照してください 24) ことができます。

2. TV および / またはオーディオ装置を接続する



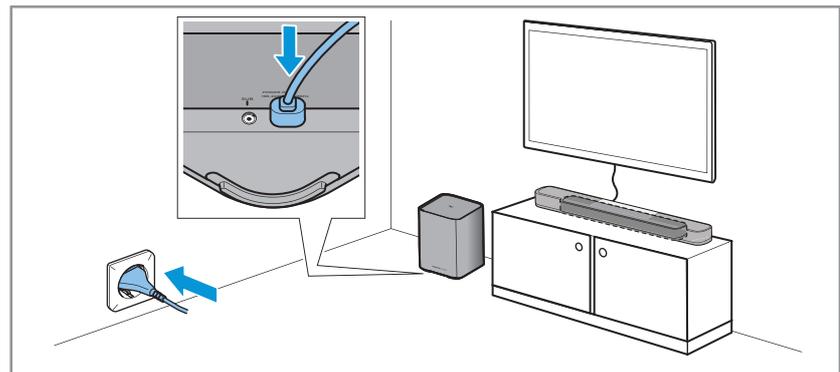
TV をサウンドバーに接続します。他のオーディオ / ビデオ装置を接続 (ページを参照してください 32) するか Bluetooth または WiFi / イーサネットを介してオーディオをワイヤレスで再生させる (ページを参照してください 48) こともできます。

3. 電源を接続する



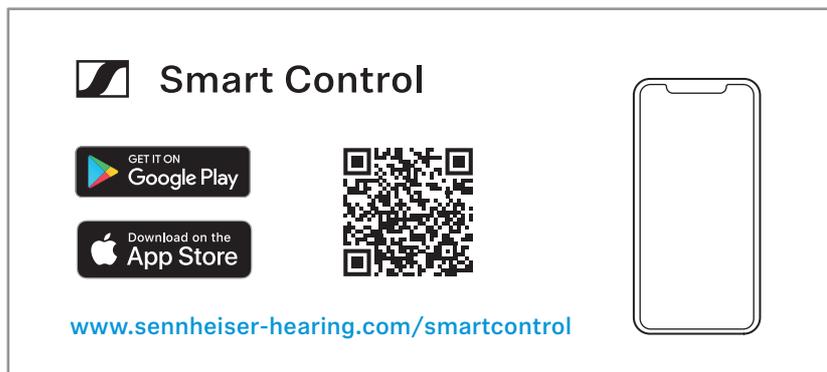
AMBEO サウンドバーを電源に接続すると、AMBEO サウンドバーが作動（ウェイクアップ）するので、Sennheiser Smart Control App で最初の始動プロセスを操作してください（ページを参照してください 17）。

4. この代りに AMBEO Sub を設置して、電源接続を確立します



AMBEO サウンドバーの低音出力をワイヤレス接続されている 4 台の AMBEO まで拡張することができます。サブウーファーはサウンドバーのある室内に設置し（ページを参照してください 21）、AMBEO Sub を電源に接続します（ページを参照してください 34）。

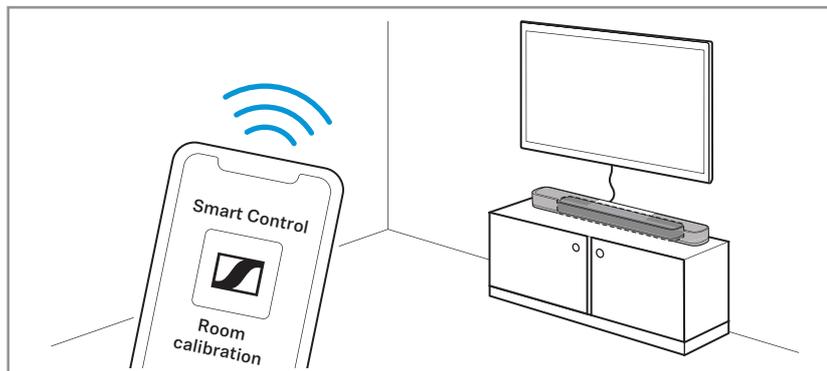
5. Sennheiser Smart Control App をお使いのスマートフォンにインストールして WiFi 接続を確立する



Sennheiser Smart Control App ではすべての機能と AMBEO サウンドバーの設定を利用し、WiFi やサウンドバーの名前、der AMBEO Sub (オプション) 接続、スペースキャリブレーション等のセットアップを通してさらにガイドされます。

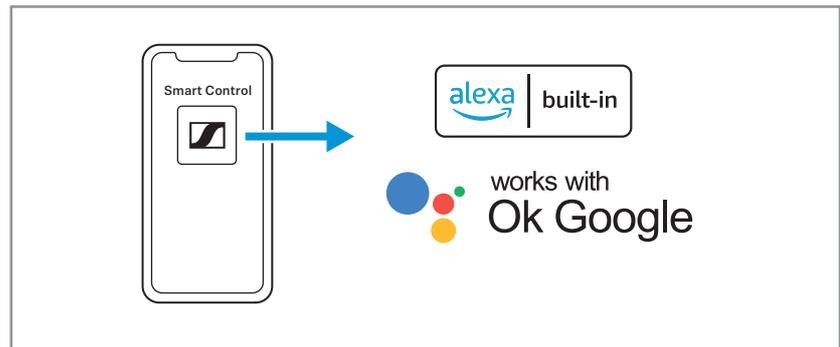
- Google Play Store: [こちらをクリックしてください](#)
- Apple App Store: [こちらをクリックしてください](#)

6. 室内キャリブレーションを開始する



最適な立体音響効果を得るには AMBEO サウンドバーをオプションの AMBEO Sub と合わせてスペースキャリブレーションを行う必要があります。このキャリブレーションは数分間かかりますが、最適な 3D 室内音響が得られます (ページを参照してください 40)。

オプションのアシスタント Amazon Alexa や Ok Google のセットアップ



オプションとしては、サウンドバーを音声アシスタント Amazon Alexa や Ok Google 用にセットアップすることができます。Smart Control App ではセットアップを通してガイドされます (相互接続とユーザーアカウントが必須、Amazon Alexa, Alexa Cast、Ok Google、Chromecast が利用可能かは地域によって異なります)。

Amazon Alexa はサウンドバーに内蔵されて一体化されており、すべての機能をご利用になれます。サウンドバーのマイクでコントロールします。

Google 音声アシスタントを使用して制御するには、音声コマンドをアクションに変換する追加のスマートデバイスが必要です (サウンドバーのマイクでコントロールしません)。サウンドバーはここで例えばスピーカーとしてスマートフォンと接続して使用することができます。

サウンドバーと Sub の据付

サウンドバーを足で立て位置決めする

注意

過熱による器物損傷

空気流が不足するとサウンドバーが過熱することがあります。

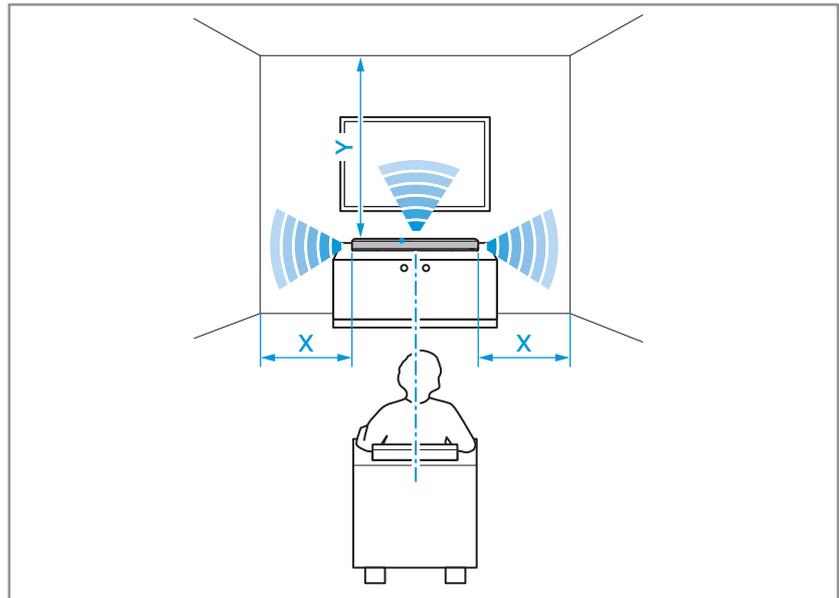
- ▷ サウンドバーの上に物を置かず、最小間隔を保ち、空気が循環するようにしてください。
-

注意

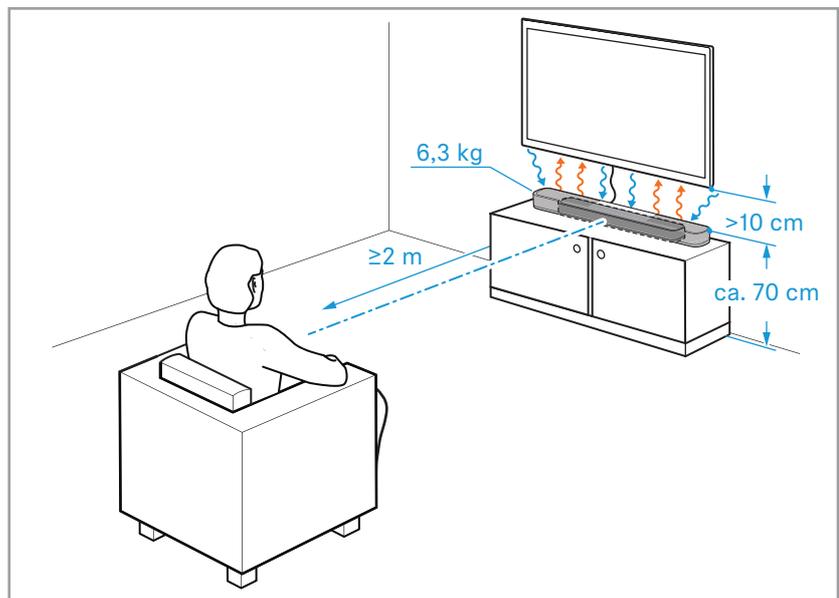
家具表面が変色する恐れがあります！

製品の脚が家具の光沢や塗装面を傷つけ、家具のシミの原因となる可能性があります。

- ▷ 傷つきやすい表面に製品を置かないでください。場合によっては、敷物を使用してください。
-
- ▷ サウンドバーはサウンドバーの重量を確実に支持できる安定した平坦かつ水平な家具の上に立てます。
 - ▷ その際に次の注意事項を守ってください。
 - サウンドバーから側面の壁までの距離 X はサウンドバーが室内の中央になるように理想的には等距離が望ましいです。サウンドバーと壁との最適距離は 1 m から 5 m です。
 - サウンドバーは少なくとも高さ 70 cm (家具の上等) に高くして立てることが望まれます。
 - サウンドバーと、部屋の壁および天井との間に音を妨害する、あるいは吸音するような物があってはいけません (本棚またはひじ掛け椅子のような家具、部屋の仕切り、カーテン、植木鉢など)。
 - サウンドバーから天井までの距離 Y は 1 m から 5 m が必要ですが、5 m を超えてはいけません。天井は平らで水平であることが必要です (尖がり天井または丸天井は不可)。
 - サウンドバーはテレビより低い位置の中央にあることが必要です。
 - 最適には、サウンドバーを 1 台から 4 台の AMBEO Sub と接続して、立体音響によりボリュームと存在感を与えることができます。AMBEO Sub の位置決め用、ページを参照してください 24 を参照してください。



- サウンドバーとテレビとの間隔は少なくとも 10 cm 必要です。
- テレビのなかにはサウンドバーによってリモコンのセンサーが隠れ、リモコンが機能しなくなる場合がありますことにご注意ください。この場合はサウンドバーとテレビの距離を広げるか、市販の IR (赤外線) リピーターを使用してください。
- 座る位置 (最適位置 「スイートスポット」) はサウンドバーの前中央で、サウンドバーまでの距離は少なくとも 2 m 必要です。



- ▷ 空気を十分に循環させてください。製品で発生する熱は、ハウジングを介して放出されます。

最適な構成

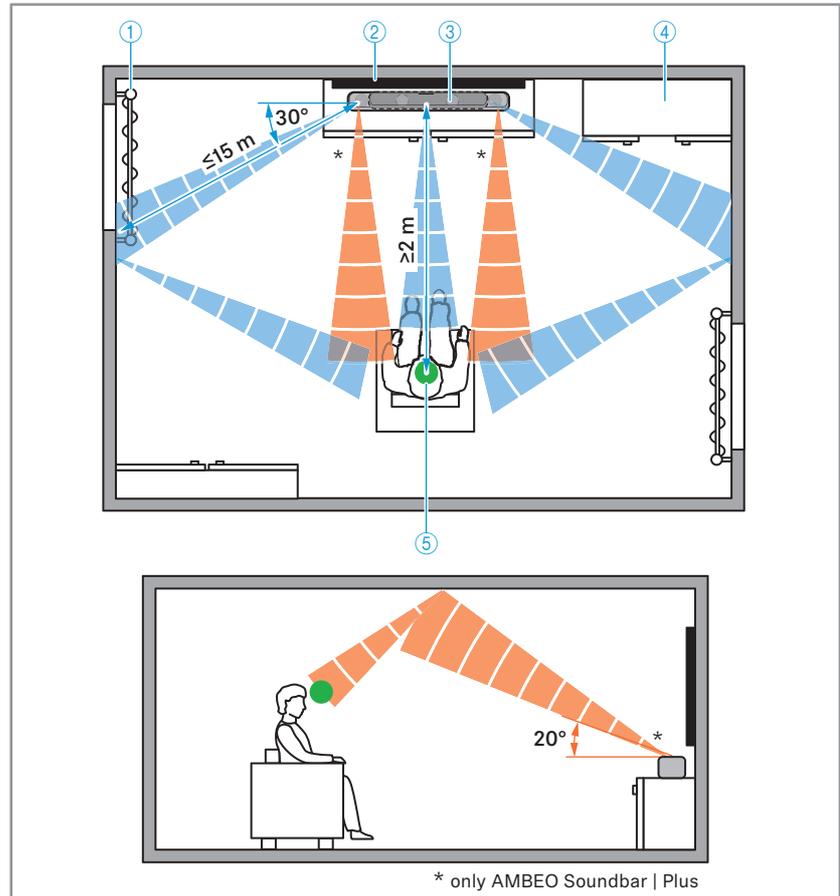
次の図は壁や物で反射され、最適位置 (「スイートスポット」) に到達する、サウンドバーからの音波の図式的な構成を示します。このようにしてサウンドバーを使って仮想的な立体音響を生成することができます。

AMBEO サウンドバー | プラスは音響効果が上から反射されることができるようサウンドを天井に指向させる Top-Firing スピーカーを搭載しています。

サウンドバーと Sub の据付

AMBEO サウンドバー | ミニには Top-Firing スピーカーではなく特殊 DSP アルゴリズム (Digital Sound Processing) があり、この種の高さの効果をシミュレートします。これで音響が上から入って来る印象が生じます。

AMBEO Sub は理論上は低音域の閾値が聴覚では感知されないため、室内のどこでも据付可能です。複数のサブウーファーを使用する場合 (4 台まで)、サブウーファーを側面 / 壁に据え付ける必要があることにご注意ください。



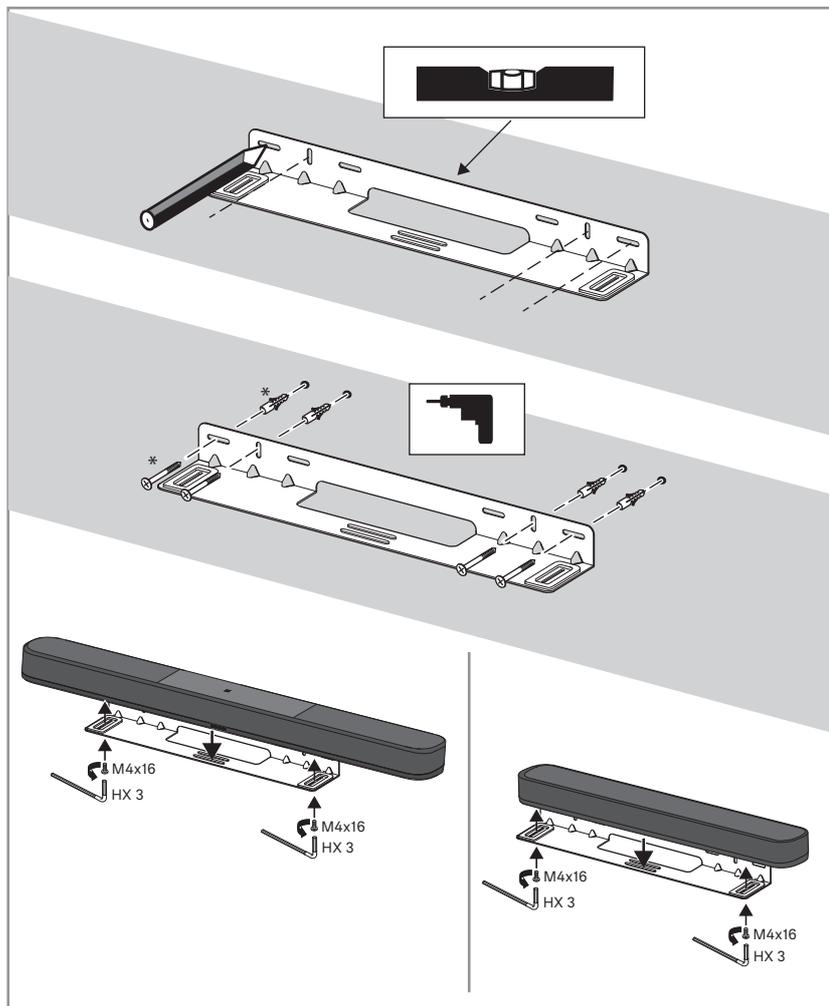
- | | | |
|------------------------------|---|----------------------------------------------------|
| ① カーテン | — | 反射面 |
| ② TV | — | スピーカーの音波 |
| ③ サウンドバー | — | *AMBEO サウンドバー プラスのみ : 天井に向かう Top-firing スピーカーの音波 |
| ④ 家具 | — | |
| ⑤ 最適位置、「Sweetspot」(スイートスポット) | | |

i サウンドバーの位置決めの際に壁や天井が音を反射することに注意してください。大量のカーテン、厚い絨毯および粗い表面は 3D サラウンドに影響します。

サウンドバーを壁に取付ける

サウンドバーを壁に取付けるには AMBEO サウンドバー用ウォールマウント SB02 が必要になります (オプションのアクセサリ、ページを参照してください 15)。

- ▷ 取り付け説明書 (ウォールマウント SB02-WM に添付) の説明に従って行ってください。



Sub を足で立て位置決める

注意

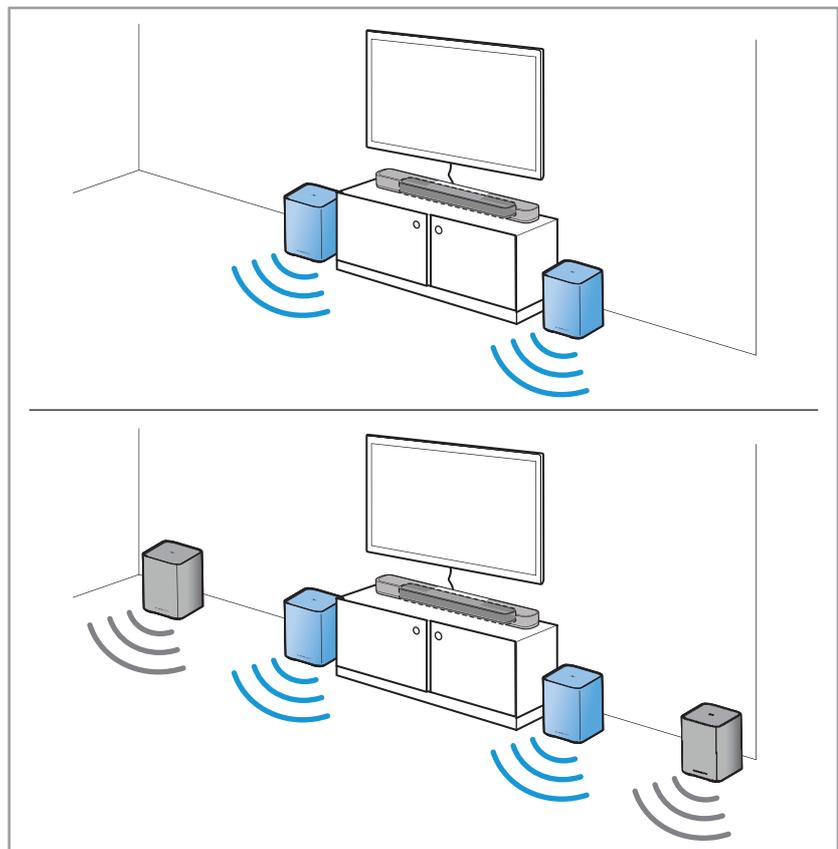
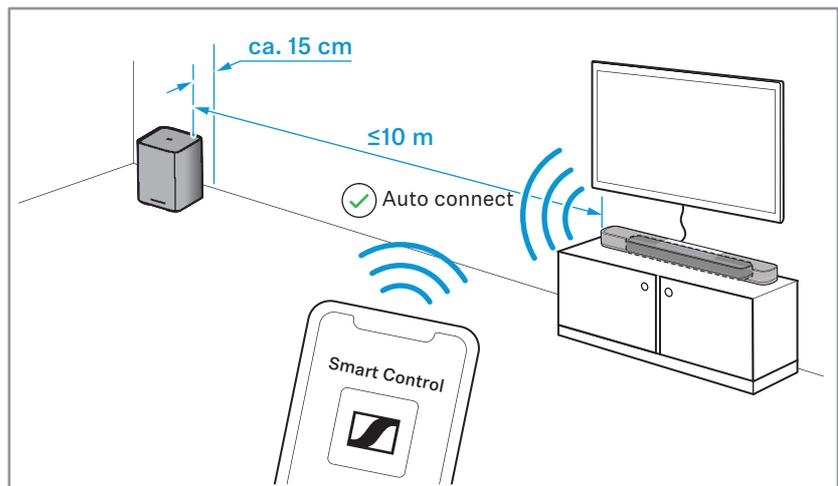
家具表面が変色する恐れがあります！

製品の脚が家具の光沢や塗装面を傷つけ、家具のシミの原因となる可能性があります。

- ▷ 傷つきやすい表面に製品を置かないでください。場合によっては、敷物を使用してください。
- ▷ Sub をフロアに立てます。フロアはしっかりして平坦でなければなりません。
- ▷ その際に次の注意事項を守ってください。
 - サブウーファーはサウンドバーの横に据え付けてください。壁との距離は約 15 cm 取ってください。

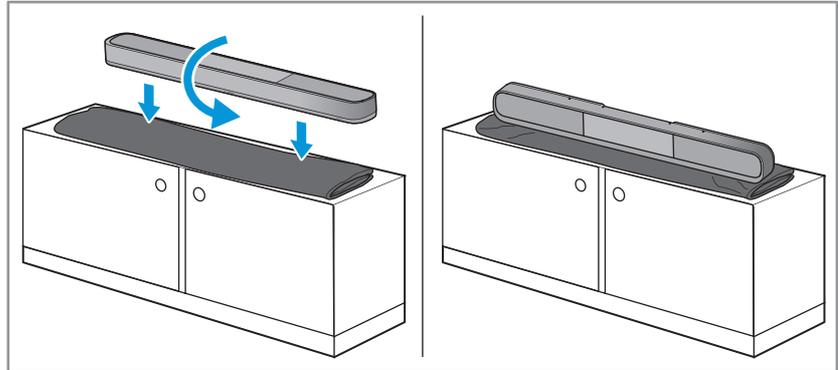
サウンドバーと Sub の据付

- サブウーファーとサウンドバー間の無線到達距離は 10 m までです。
- サブウーファーの放射角度は上向きになっています。サブウーファーの上に物を置いたり、被せないでください。
- サブウーファーを 1 台以上使用する場合 (最大 4 台可能)、サブウーファーを側面 / 壁に据え付けてください。この代りにサブウーファーを空間内に分散配置することも可能ですが、この場合は低音出力が場合によっては最適に出なくなります。
- サブウーファーを室内の前の部分に配置するとスピーカー間での最適な音響ミックスが得られます。
- サブウーファーを室内の後ろの方に据え付けると局所への音の偏りが最小化されます。



装置をサウンドバーに接続する

- ▷ 保護材料（毛布など）を家具とサウンドバーの間に敷いてください。
- ▷ 注意して前面が下になるようにサウンドバーを倒してください。



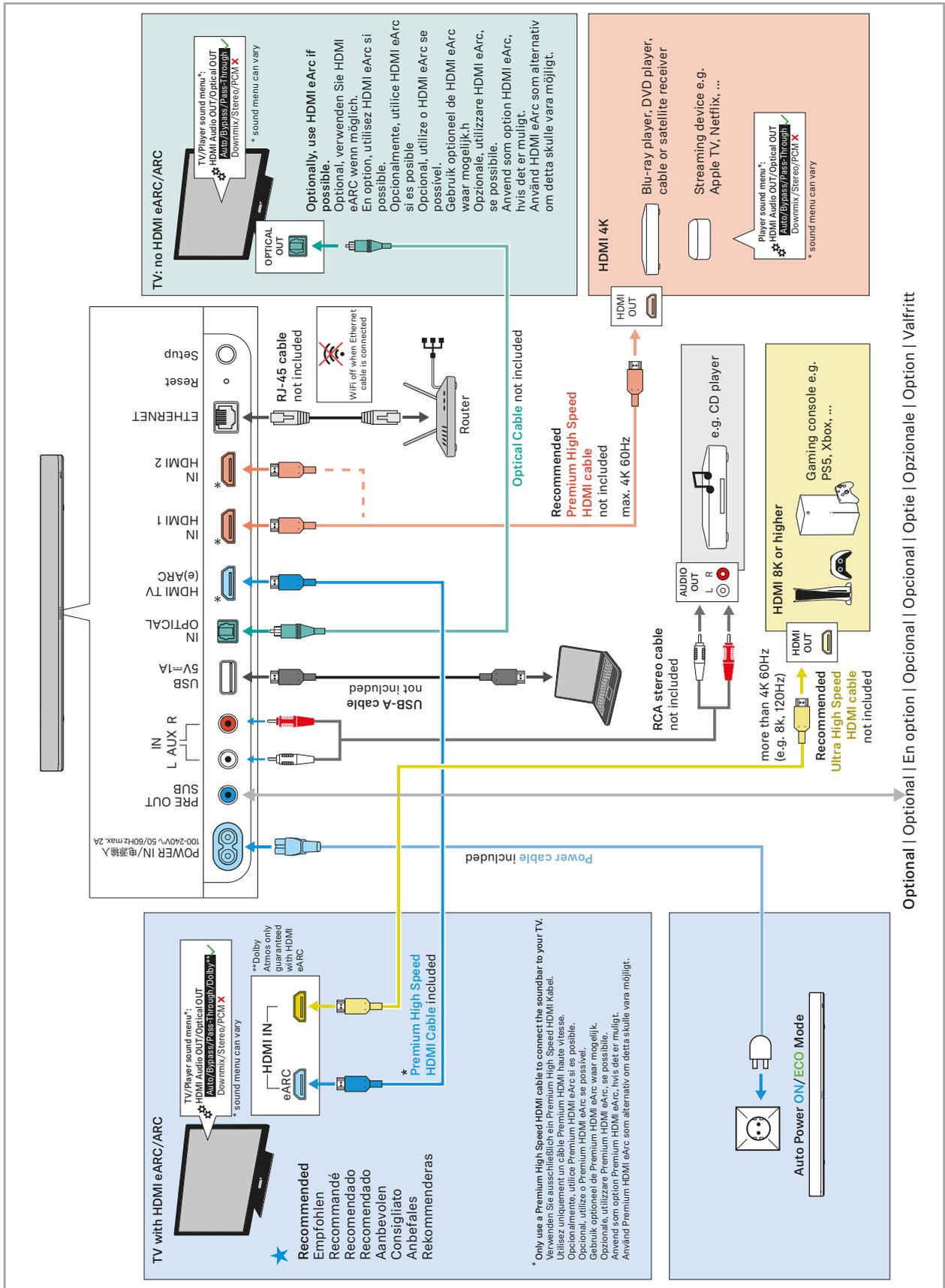
結線図（例）

オーディオソースを以下の全体図（例）に従って AMBEO サウンドバーとテレビに接続します。Sennheiser は高解像度サラウンドフォーマットを Premium High-Speed-HDMI[®] ケーブルを使って、直接 AMBEO サウンドバーに接続することを推奨しています。

この際解像度 8K のビデオコンテンツはサウンドバーへ転送されないことにご注意ください。ビデオコンテンツを 8K で転送する際はビデオ機器をテレビ受像機に直結してください (Ultra High-Speed-HDMI[®] ケーブルで)。

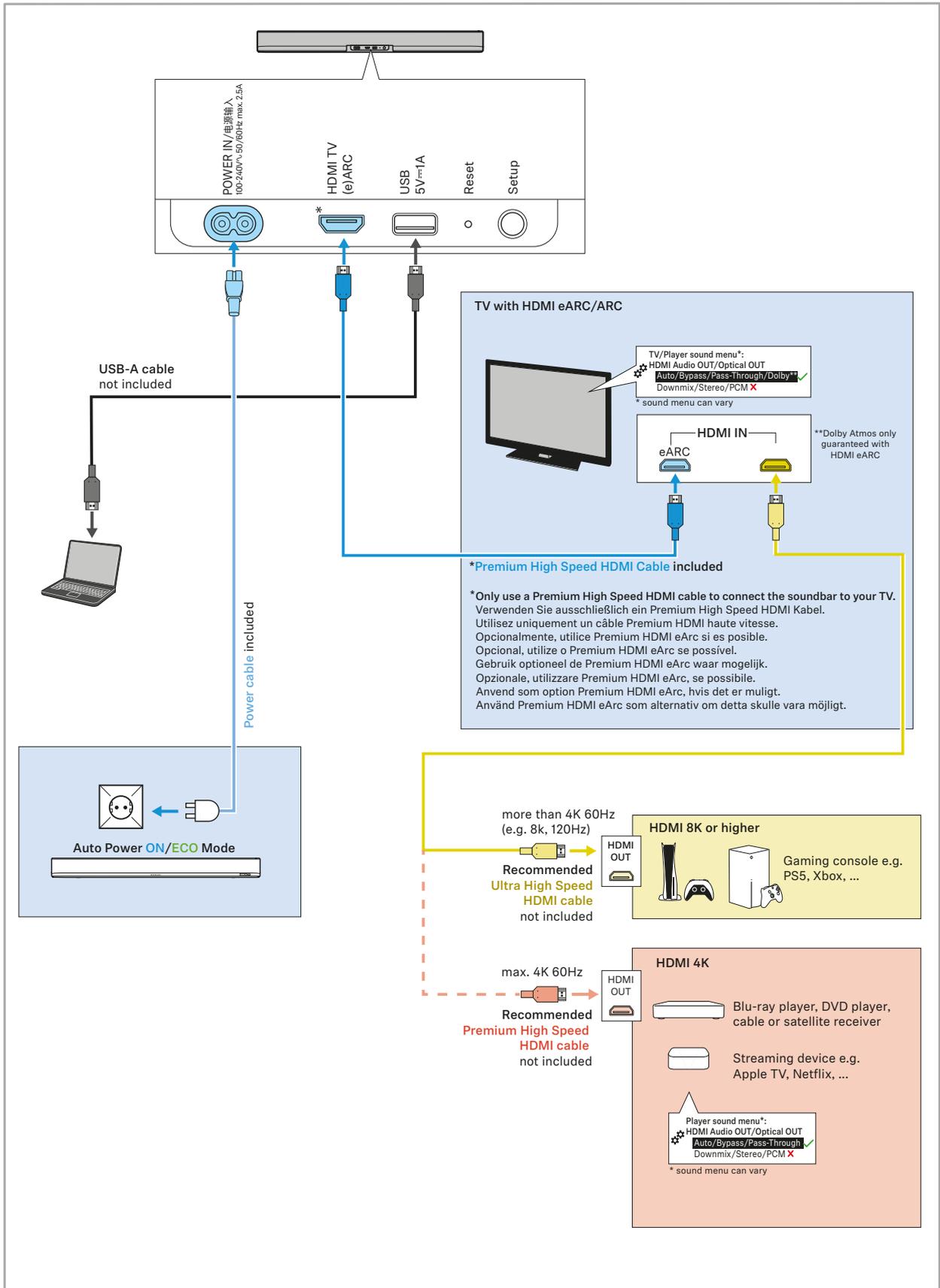
装置をサウンドバーに接続する

AMBEO サウンドバー | プラスの例



装置をサウンドバーに接続する

AMBEO サウンドバー | ミニの例



HDMI ARC または HDMI eARC を使用

HDMI ARC および HDMI eARC を介したオーディオ信号の伝送は制約されます。次のオーディオフォーマットは HDMI 規格での伝送が可能です：

オーディオフォーマット	サウンドバーのチャンネル計算	HDMI ARC*	HDMI eARC*
ステレオサウンド (LPCM)	2.0	はい	はい
サラウンドサウンド (LPCM)	5.1/7.1	はい	はい
Dolby Digital/ DTS Digital Surround/ DTS 96/24	5.1	はい	はい
Dolby Digital Plus/ DTS-HD 高解像度	7.1	依存	はい
DTS-ES ディスクリート / マトリクス	6.1	はい	はい
Dolby True HD/ DTS-HD Master Audio	7.1	いいえ	はい
Dolby Atmos/ DTS:X/MPEG-H	7.1.4	依存	はい
Sony 360 Reality Audio	7.1.4	依存	はい

* はい : 対応
 いいえ : 未対応
 依存 TV モデルにより異なる (ご使用テレビの取扱説明書を参照してください)

Dolby Atmos/DTS:X/MPEG-H 込んテンスをデータ損失なしに最高品質の音響で再生できるようにするには、サウンドバーをテレビの HDMI eARC IN (ある場合) に接続してください。

必ずしもどのテレビにも HDMI-ARC または HDMI-eARC 入力があるとは限りません。AMBE0 サウンドバー | プラスは代替的にテレビの光出力を介しても接続可能です (ページを参照してください 73)。

HDMI 接続には少なくとも 1 本の Premium High-Speed-HDMI ケーブルかこれより優れたケーブルをご使用ください (こうしないとビデオにのみ伝送され、HDMI ケーブルでオーディオが伝送されなくなります)。

ご使用のテレビと Dolby Atmos/DTS:X/MPEG-H などのオーディオソースコンテンツ再生が無理であればオプションの市販 ARC/eARC 用 HDMI アダプターが機能しないことにご注意ください。

i 再生用オーディオコーデック (例えば Dolby Digital) 情報は Sennheiser Smart Control App のメニュー [Codec](#) (ページを参照してください 51) をご覧ください。ここえコーデックの設定も調整できます (ページを参照してください 57)。

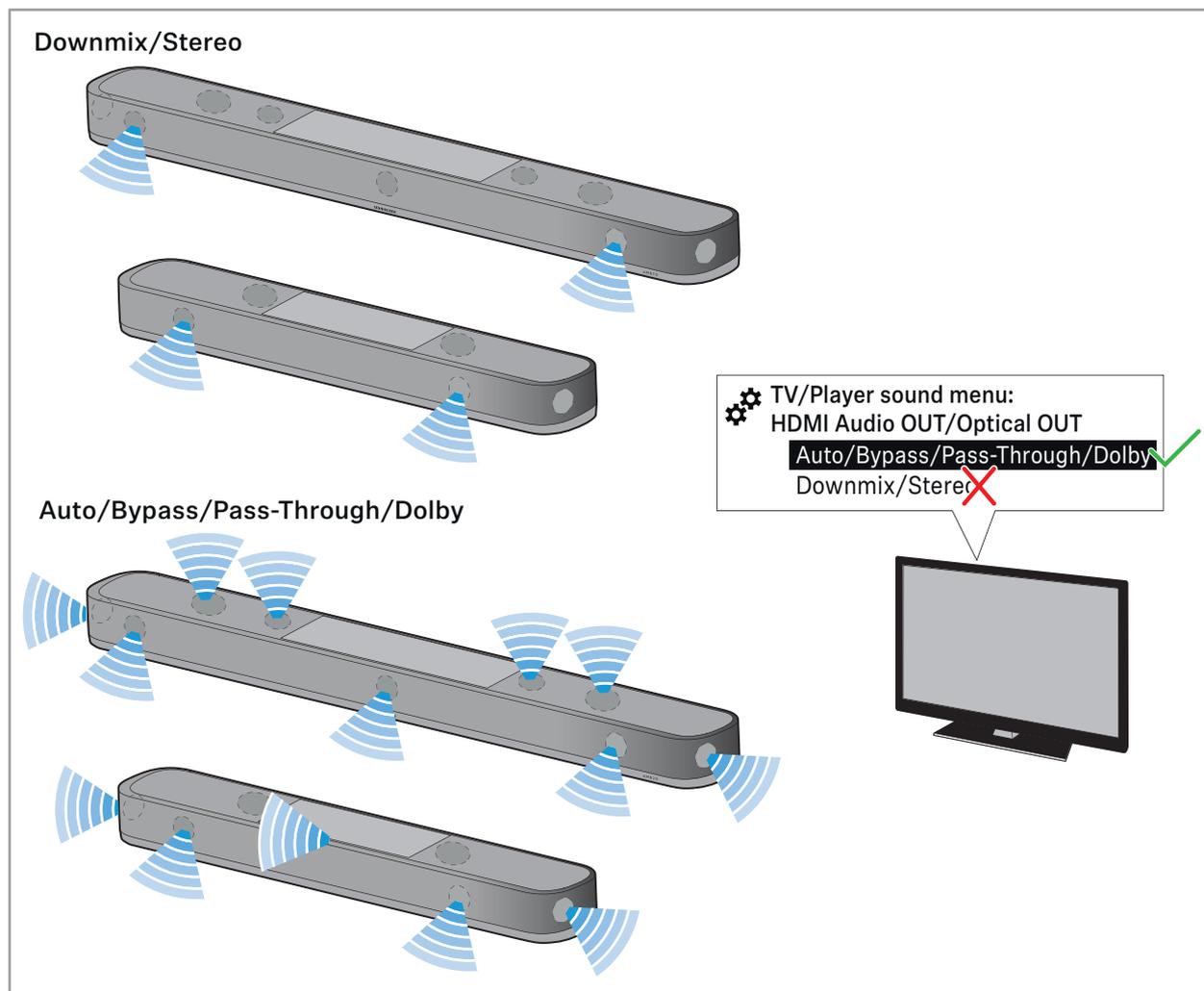
ストリーミングサービスでの Dolby Atmos

ストリーミングサービスが Dolby Atmos に対応している限り、このフォーマットで提供されているのはどのコンテンツかさらに再生可能かを実際にご確認ください。Dolby Atmos コンテンツにアクセスするには、ほとんどの場合サブスクリプション契約が前提になっています。これについての情報はストリーミングサービスプロバイダーでご確認ください。ストリーミングサービスのオーディオ再生を有効にするには、ページを参照してください 59 をご覧ください。

準備

TV およびオーディオ / ビデオ装置でサウンドの設定をします。

- ▶ 装置のサウンド設定を HDMI 出力および「Downmix/Stereo」（ダウンミックス / ステレオ）の光学的出力を「Auto/Bypass/Pass-Through/Dolby」（自動 / バイパス / パススルー / Dolby）にします（装置のメニューはメーカーによって表記方法が異なることがあります）。
これによってソース（例えば TV）の 3D サラウンド用オーディオ信号が AMBEO サウンドバーにも供給されます。



TV の接続

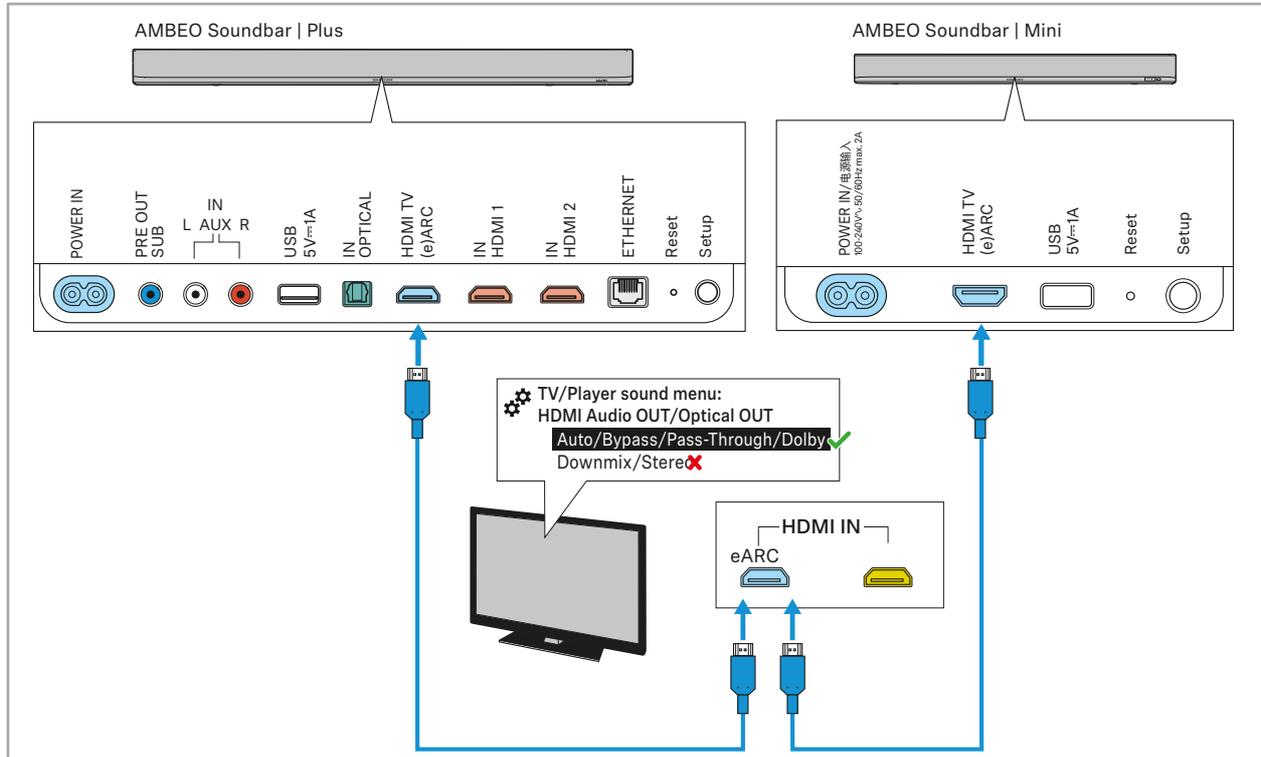
HDMI eARC ポートへの接続（推奨）

必要なケーブル：プレミアム High-Speed-HDMI ケーブル（同梱）

装置をサウンドバーに接続する

「ARC/eARC」とマーキングされた HDMI IN(入力)ポートのあるテレビに接続します。

- ▶ 同梱されているプレミアム High-Speed-HDMI ケーブルをサウンドバーの **HDMI TV (eARC)** ポートに差し込んでください。
- ▶ ケーブルのもう一方のプラグを TV の HDMI (eARC) IN ポートに差し込みます。
- ▶ 装置の設定にご注意ください (ページを参照してください 30)。



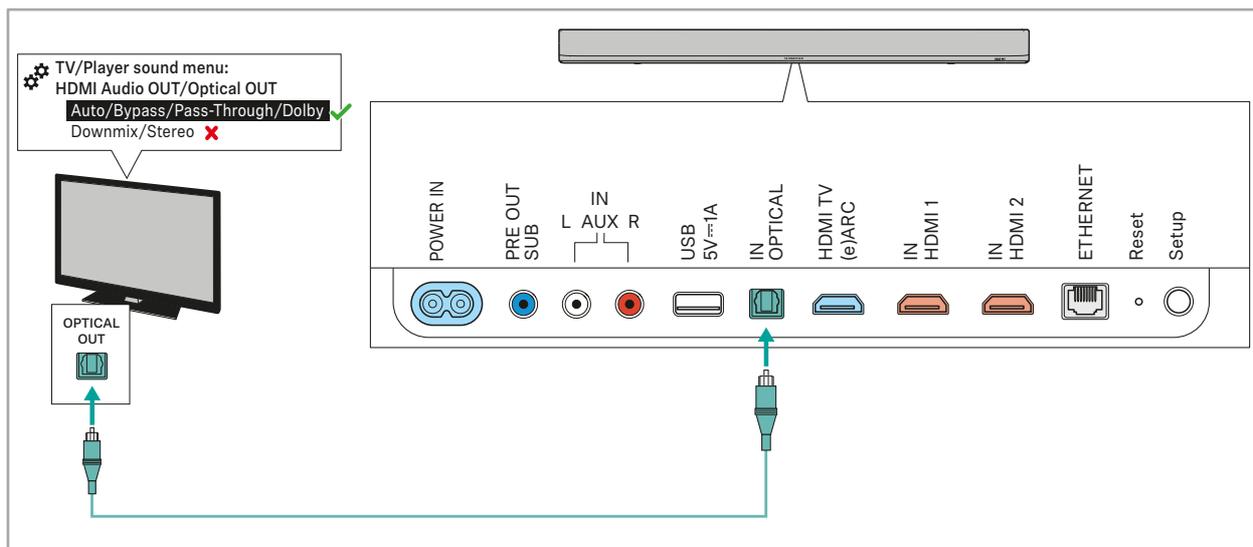
HDMI eARC ポート無しでの接続 (AMBEO サウンドバー | プラスのみ)

必要なケーブル: 光ケーブル (推奨最大 5 m)

サウンドバーを「ARC/eARC」と記された HDMI IN ポートが無い TV に接続するには:

- ▶ 光ケーブル (同梱されていません) のプラグをサウンドバーの **OPTICAL IN** (光イン) ポートに差し込みます。
- ▶ ケーブルのもう一方のプラグを TV の OPTICAL OUT(光アウト) ポートに差し込みます。
- ▶ 装置の設定にご注意ください (ページを参照してください 30)。

装置をサウンドバーに接続する



オーディオ / ビデオ機器を接続します (AMBEO サウンドバー | プラスのみ)

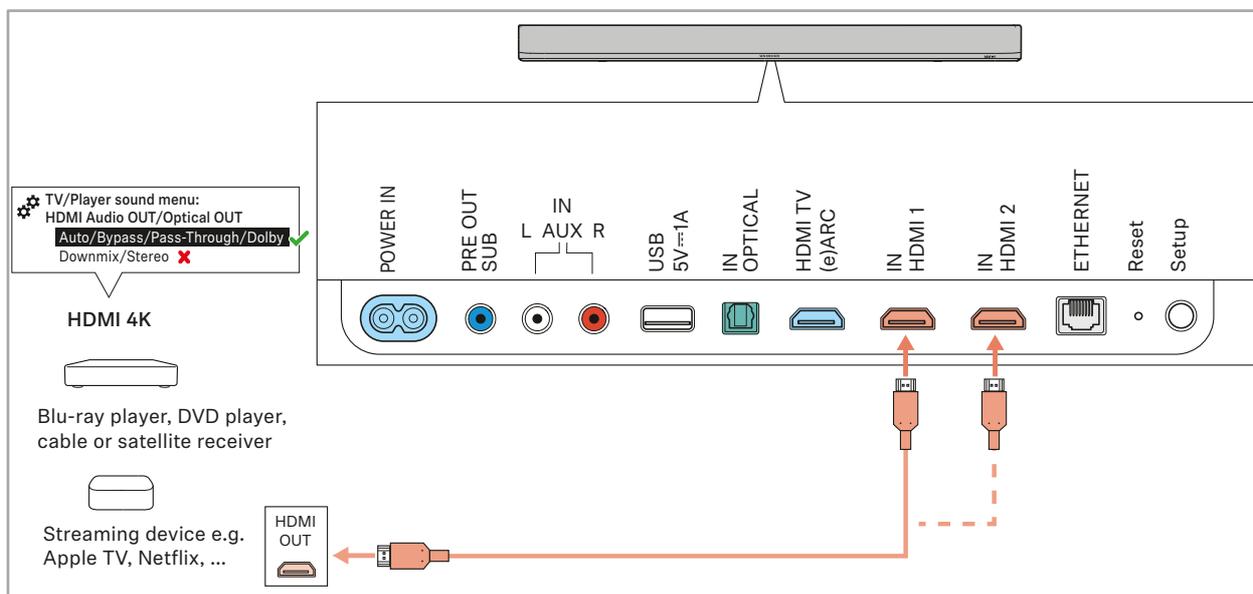
デジタル接続

必要なケーブル：HDMI (推奨：少なくともプレミアム High-Speed-HDMI ケーブル)

サウンドバーをオーディオソース (例えば Blu-ray プレーヤ、DVD プレーヤ) に接続するには：

- ▷ HDMI ケーブル (同梱されていません) のプラグをサウンドバーの HDMI ポート (HDMI 1 IN、HDMI 2 IN) に差し込みます。
- ▷ ケーブルのもう一方のプラグをオーディオソースの HDMI OUT ポートに差し込みます。
- ▷ 装置の設定にご注意ください (ページを参照してください 30)。

i 解像度 8K のビデオコンテンツはサウンドバーへ転送できません。ビデオコンテンツを 8K で転送する際はビデオ機器をテレビ受像機に直結してください。



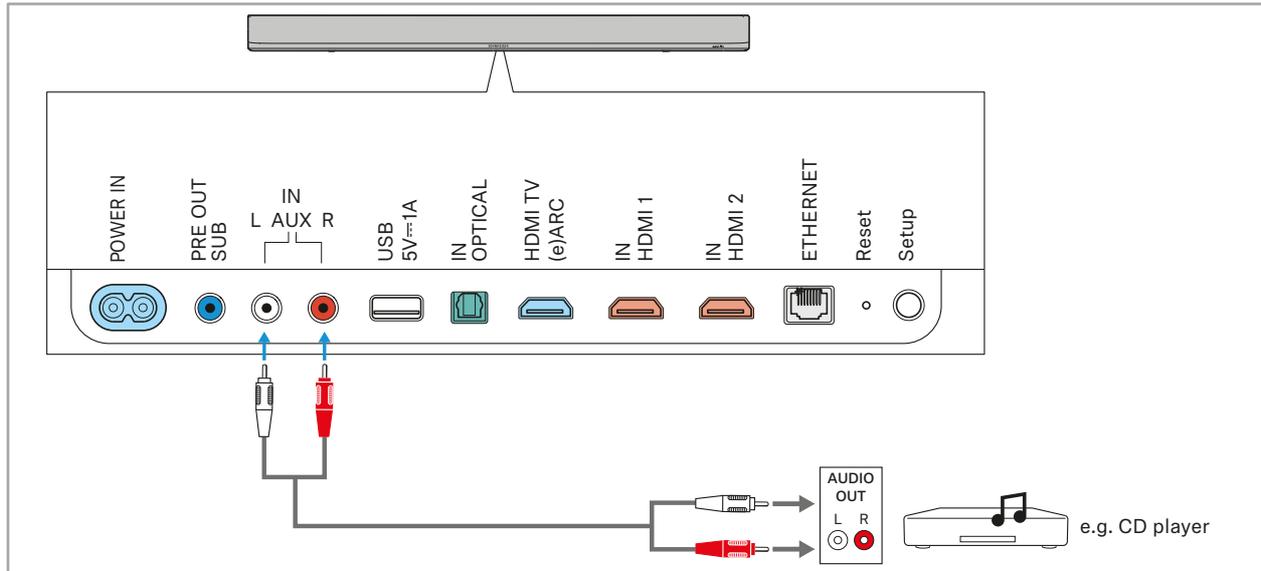
装置をサウンドバーに接続する

アナログ接続

必要なケーブル：ステレオ RCA ケーブル

サウンドバーを TV またはオーディオソース（CD プレーヤなど）に接続するには：

- ▷ Cinch ケーブル（同梱されていません）の赤色のプラグをサウンドバーの赤色の端子 **AUX IN R** に差し込み、ケーブルの同じ側の白色のプラグをサウンドバーの白色の端子 **AUX IN L** に差し込みます。
- ▷ ケーブルのもう一方の赤色のプラグと白色のプラグをそれぞれ TV またはオーディオソースの赤色と白色の端子に差し込みます。

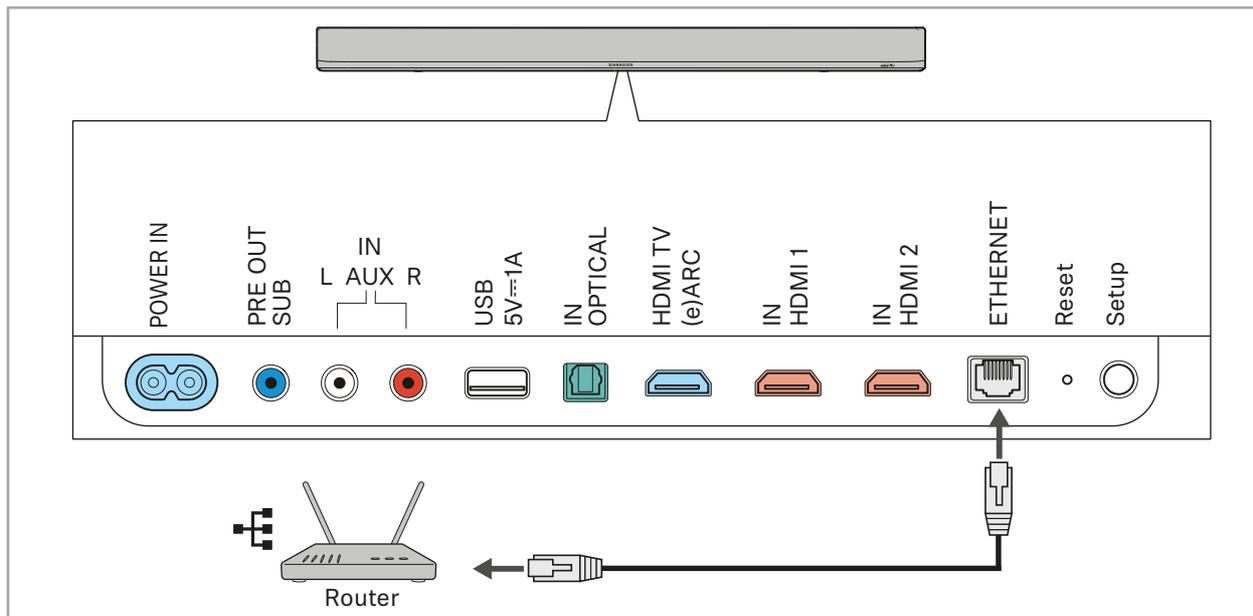


イーサネットケーブルを接続します (AMBEO サウンドバー | プラスのみ)

サウンドバーを有線ネットワークに接続するには：

- ▷ ネットワークケーブル (RJ45 コネクタ装備、同梱されません) のコネクタをサウンドバーの **ETHERNET** ポートに差し込みます。
- ▷ ケーブルのもう一方のプラグをルーターのネットワークポートに差し込みます。
場合によってはお使いのルーターで設定を行う必要があります。

装置をサウンドバーに接続する



サウンドバーがケーブルでインターネット / イーサネットに接続されると、サウンドバーの WiFi 機能は自動的に無効になります。この代りに、サウンドバーを WiFi 経由でインターネットに接続することができます (ページを参照してください 50)。

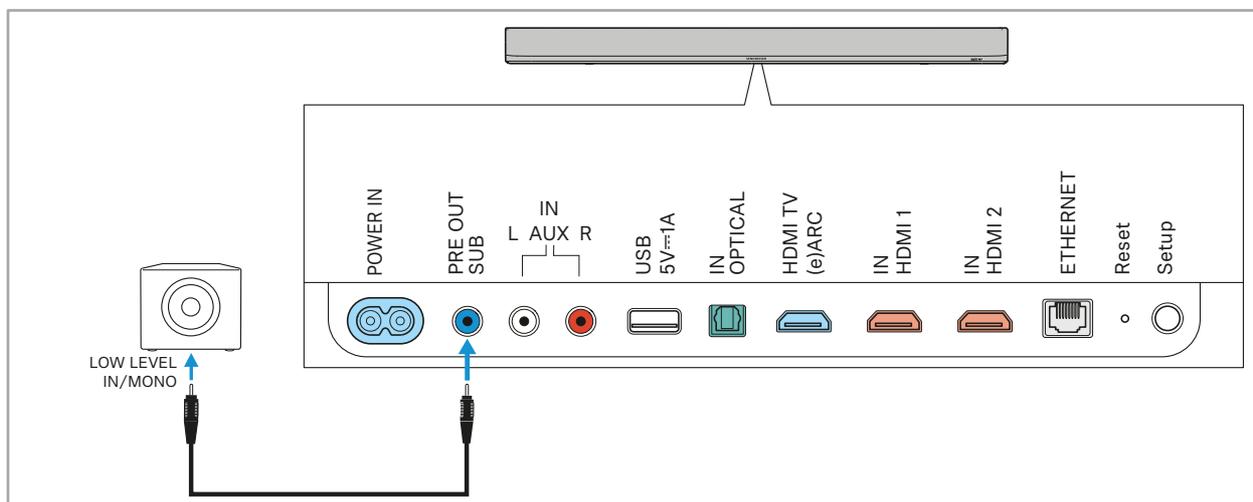
サブウーファーを接続します (オプション、AMBEO サウンドバー | プラスのみ)

オプションとしてサブウーファをサウンドバーに接続できます。

アナログ接続

必要なケーブル：モノラルケーブル

- ▷ 推奨設定：サブウーファの音量を「約 50%」に、またクロスオーバーを「Max(最大)」に設定します。
- ▷ モノラルケーブル (同梱されていません) のコネクタをサウンドバーの PRE OUT SUB ポートに差し込みます。
- ▷ もう一方のプラグをサブウーファの LOW LEVEL IN/MONO 端子に差し込みます。



ワイヤレス接続 (AMBEO Sub の場合のみ)

4 台の AMBEO Sub までサウンドバーとワイヤレス接続できます。すべての AMBEO Sub のワイヤレス接続を Sennheiser Smart Control App でセットアップして管理することができます (ページを参照してください 55)。このためには Smart Control App をお使いのスマートフォンにインストールし、サウンドバーと接続されていることが前提です。

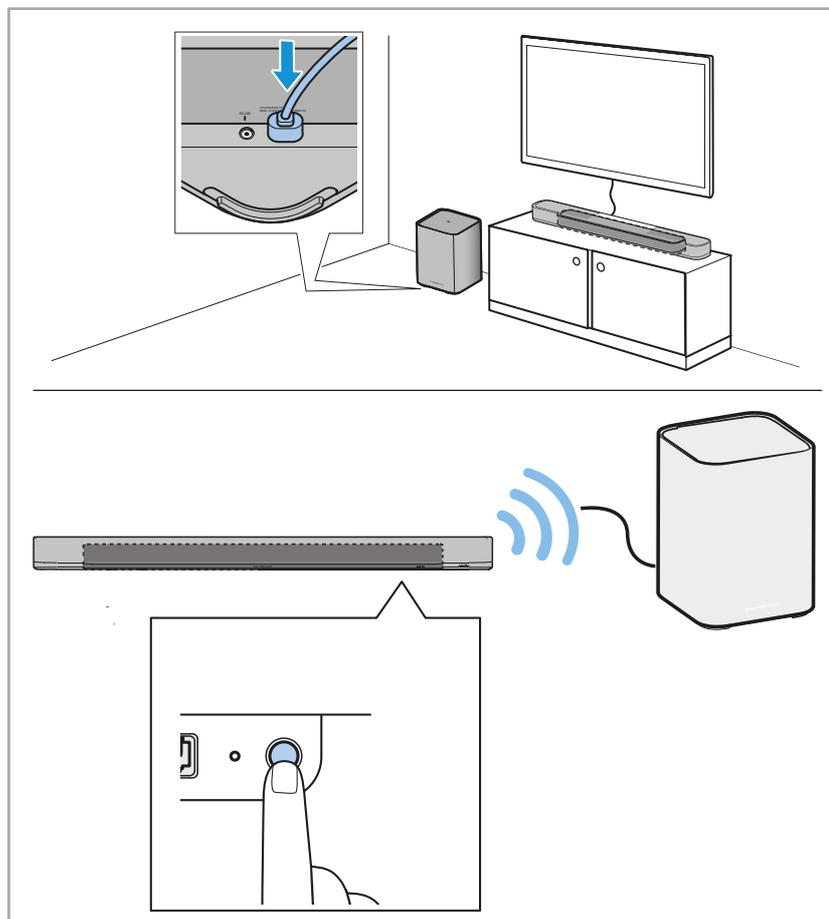
Smart Control App を利用できない場合、サウンドバーのセットアップボタンでワイヤレス接続を確立することができます。

- ▷ サウンドバーと AMBEO Sub が電源に接続されていることを確認してください (ページを参照してください 37, ページを参照してください 38)。

AMBEO Sub は納入時にペアリングモードになっており、新しい接続を検索します。AMBEO Sub のステータス LED が黄色にパルス点灯します。

- i** AMBEO Sub のステータス LED が白くパルス点灯していれば、AMBEO Sub は AMBEO Sub がすでにペアリングした既知の装置と接続しようとしています。既存の接続を削除するには、AMBEO Sub をリセットしなければなりません。 (ページを参照してください 36)。

- ▷ サウンドバーのセットアップボタンを短く押します。サウンドバーは AMBEO Sub と接続されます。AMBEO Sub のステータス LED は接続に成功すると白く点灯します。



装置をサウンドバーに接続する

- ▷ 必要であればその他の AMBEO Sub を同じようにして接続します。
- ▷ サウンドバーのキャリブレーションを行ってください (ページを参照してください 40)。

AMBEO Sub のペアリング設定を削除する

AMBEO Sub がすでにペアリングされている装置があると、AMBEO Sub のステータス LED は接続試行中に黄色ではなく白くパルス点灯します。AMBEO Sub がペアリング済みの機器と自動接続しようとしません。

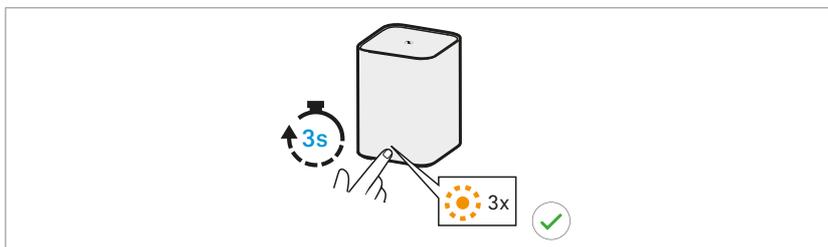
AMBEO Sub を新しい装置と接続するには、既知のペアリング設定を削除してください。

接続されているすべての AMBEO Sub のペアリング設定は Smart Control App で直接削除することができます (ページを参照してください 56)。

その代わりにペアリング設定を AMBEO Sub のセットアップ ボタンでリセットすることもできます。

セットアップ ボタンで AMBEO Sub をリセットする方法：

- ▷ AMBEO Sub のセットアップ ボタンを 3 秒押し続けます。AMBEO Sub のステータス LED が橙色に 3 回点滅してから黄色にパルス点灯します。AMBEO Sub が新しい接続を検索します。AMBEO Sub のペアリング設定をセットアップ用ボタンでリセットした場合は、次に AMBEO Sub のペアリング設定を手動で Sennheiser Smart Control App から削除してください (ページを参照してください 56)。
- ▷ AMBEO Sub のペアリング設定を削除した後、スペースキャリブレーションを実行してください (ページを参照してください 40)。



サブウーファを取り外す

サブウーファーがサウンドバーと接続されている限り、Sennheiser Smart Control App で無効にすることができます。このようにすればサブウーファーとサウンドバーの接続を切断することなくオーディオ再生中にサブウーファーが使用されないようにできます (ページを参照してください 56)。

サブウーファーが無効にされると、サブウーファーなしでサウンドバーがスペースキャリブレーションのデータを使用します (データがある限り)。

サウンドバーを電源に接続する / 電源から切り離す



注意

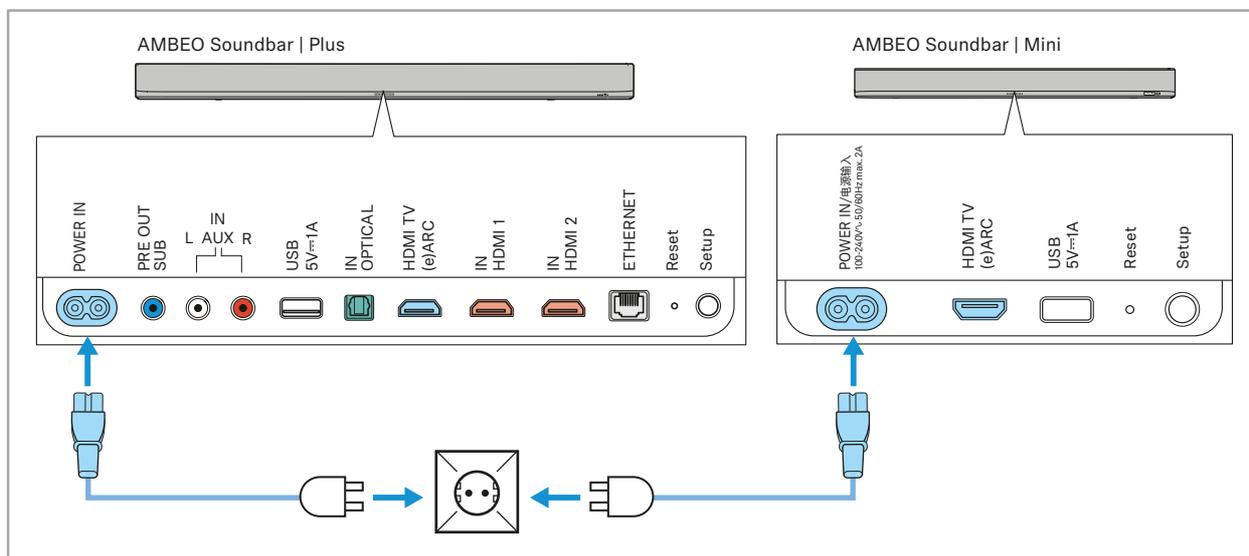
製品が損傷する危険があります！

製品を不適切な電源に接続すると、製品が損傷する可能性があります。

- ▷ 製品は適切な電源ケーブルで電源 (100 ~ 240 V、50/60Hz) に接続します。

電源に接続する

- ▷ 電源ケーブルのプラグをサウンドバーの電源ソケットを **POWER IN** (電源入) に差し込みます。
- ▷ 電源ケーブルの電源側プラグを適切なコンセントに差し込みます。サウンドバーは電源に接続すると自動的にオンになります。サウンドバーの LED ステータスバーが白く点灯します。



を電力網から切り離す

- ▷ 電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き取ります。
- ▷ サウンドバーの電源ソケット **POWER IN** (電源入) から電源ケーブルのプラグを抜きます。



サウンドバーは手動でオンオフする必要がありません。サウンドバーを使用しないでいると自動的に電流節約の ECO モードに切り替わります (ページを参照してください 43)。オーディオ再生がオーディオソースからスタートするとサウンドバーは自動的に ECO モードからオンになります。

その代りの方法として、サウンドバーをネットワーク接続なしでスタンバイにすることができます (ページを参照してください 44)。

AMBEO Sub を電源に接続する / 電源から切り離す



注意

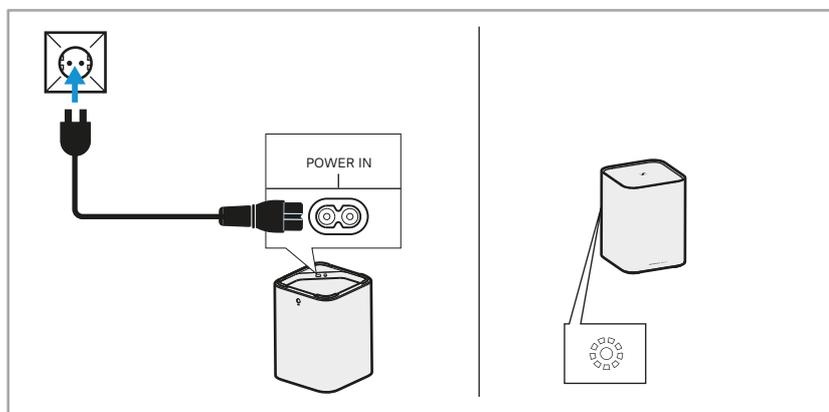
製品が損傷する危険があります！

製品を不適切な電源に接続すると、製品が損傷する可能性があります。

- ▶ 製品は適切な電源ケーブルで電源 (100 ~ 240 V、50/60Hz) に接続します。

電源に接続する

- ▶ AMBEO Sub の電源ソケット **POWER IN** (電源入) に電源ケーブルのプラグを差し込みます。
- ▶ 電源ケーブルの電源側プラグを適切なコンセントに差し込みます。AMBEO Sub は電源に接続すると自動的にオンになります。AMBEO Sub のステータス LED が白く点灯します。



を電力網から切り離す

- ▶ 電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き取ります。
- ▶ 電源ケーブルのプラグを AMBEO Sub の **POWER IN** (電源入) 電源ソケットから引き抜きます。



AMBEO Sub は手動でのオンオフ操作が必要ありません。AMBEO Sub がワイヤレスでサウンドバーと接続されており、サウンドバーが ECO モードに切り替わってから 5 分経過すると AMBEO Sub は自動的にスタンバイモードに切り替わります。AMBEO Sub がサウンドバーとケーブルで接続されている場合、AMBEO Sub は 15 分経過してからスタンバイモードに切り替わります。

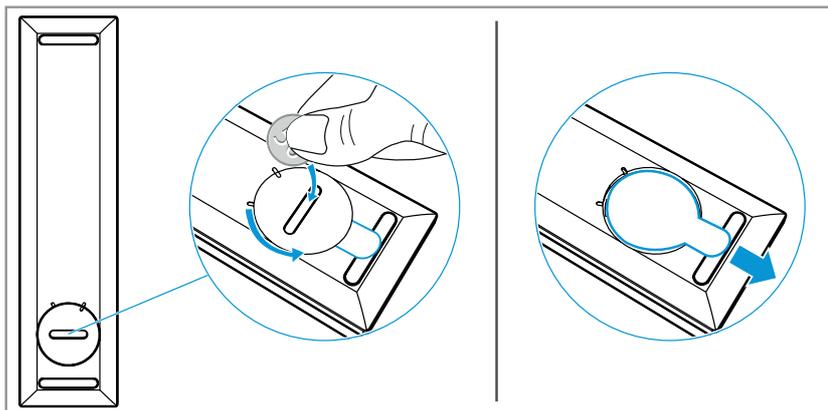
サウンドバーでオーディオ再生をスタートさせると、すぐに AMBEO Sub はスタンバイモードから自動的に切り替わります。

サウンドバーを作動させる

リモートコントロール SB02-RC を準備する

運搬時のバッテリー保護片を取り外すには：

- ▷ リモコンの底のカバーを適切な物（硬貨など）で反時計方向に回して開きます。
- ▷ プラスチック片を取り出します。
- ▷ 時計方向に回して、バッテリー収納部を閉じます。



Sennheiser Smart Control App をインストールする

サウンドバーをスマートフォンでコントロールするには、サウンドバーと Sennheiser Smart Control アプリ をインストールしてあるスマートフォンが同じ WiFi ネットワークと接続されていなければなりません。

AMBEO サウンドバーの設定と機能を完全に使用するためには、無料の Sennheiser Smart Control アプリがスマートフォンに必要です。

- ▷ Sennheiser Smart Control アプリ を Apple App Store または Google Play からダウンロードし、お使いのスマートフォンにインストールしてください。
 - Google Play Store: [こちらをクリックしてください](#)
 - Apple App Store: [こちらをクリックしてください](#)

または次のインターネットページから呼び出すことができます：
www.sennheiser-hearing.com/smartcontrol

Sennheiser Smart Control アプリ とサウンドバーの初期接続を確立する

Sennheiser Smart Control アプリ とサウンドバーの初期接続は Bluetooth Low Energy（ブルートゥース・ロウ・エネルギー）を使用して確立させます。そのためお使いのスマートフォンの Bluetooth がオンになっていることが前提です。

初期接続を Bluetooth で確立させたら、Smart Control App でサウンドバー用の WiFi 接続をセットアップします。このようにして次は Smart Control アプリを WiFi でサウンドバーと接続させることができます。（ページを参照してください 50）。

サウンドバーを作動させる

- ▷ サウンドバーが正しく電力網に接続されていることを確認してください。
- ▷ 接続を確立させたいスマートフォンに Smart Control アプリがインストールされており、Bluetooth と WiFi がオンになっていることを確認してください。
- ▷ Smart Control アプリ を起動します。
- ▷ Smart Control アプリ に出る指示に従って進んでください。
Smart Control アプリはサウンドバーを検知し、すべての使用可能な設定と機能を有効にします。

i Smart Control とサウンドバーの Bluetooth を介した初期接続がうまくいかなかった場合は、サウンドバーが Bluetooth すでにスマートフォンとペアリングされたことがある場合もあります。

この場合はスマートフォンの Bluetooth メニューでサウンドバーのすべての項目を削除してください。

その後新しい接続を試してください。

Sennheiser Smart Control App を使わずにサウンドバーを設定する

- ▷ お使いのスマートフォンまたはコンピュータをサウンドバーの WiFi ホットスポットに接続します。
サウンドバーの WiFi ネットワーク名は「AMBEO サウンドバー [シリアルナンバー]」となっています。
- ▷ サウンドバーのページをブラウザで呼出します
(アドレス : <http://192.168.255.249/>
またはサウンドバーとお使いのスマートフォンまたはネットワークが同じネットワークに接続されている場合 : <http://ambeo>).

室内キャリブレーションを開始する

室内キャリブレーションは最適なサラウンド効果を得るために部屋の測定を行うのに必要です。

従って室内キャリブレーションは以下のときに行うことが必要です :

- サウンドバーがその部屋で初めて使用されるとき、
- サウンドバーの位置が変更されたとき、
- サブウーファが接続されたとき、または取り外されたまたは
- 部屋に変更があったとき (家具を移動したときなど)。

キャリブレーションを準備する

- ▷ サウンドバーを電源に接続します (ページを参照してください 37)。
- ▷ サウンドバーがオンになります。このプロセスには約 20 秒間かかります。LED ステータスバーが白く点灯します。
- ▷ サウンドバーのマイクがミュートになっていないことを確認してください (ページを参照してください 45)。
- ▷ サブウーファが正しく据え付けられており、電源に接続されていることを確認してください。(ページを参照してください 24, ページを参照してください 38)。
- ▷ サウンドバーをキャリブレーションする室内が静穏であるようにしてください。

サウンドバーを作動させる

キャリブレーションを開始する

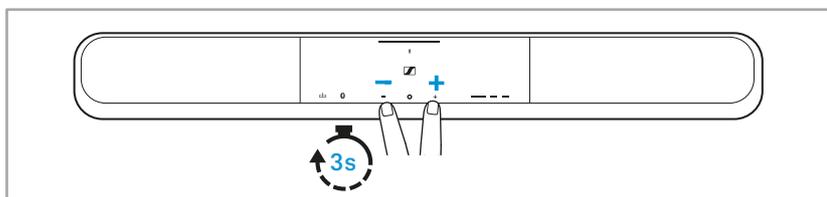
キャリブレーションは Sennheiser Smart Control App からまたはサウンドバーの音量 + と - ボタンを介しても開始することができます。Smart Control App を使うと実行中のキャリブレーション進捗状況を確認できます。

Sennheiser Smart Control App でキャリブレーションを開始する方法：

- ▷ Smart Control App を開きます。
- ▷ **System Calibration** (システムキャリブレーション開始) 部分で **Start** (スタート) ボタンをタップし、画面の指示に従って進みます。

サウンドバーの音量ボタン + と - からキャリブレーションを開始する方法：

- ▷ 音量ボタン + と - を同時に 3 秒押し続けます。キャリブレーションは数分を要します。接続されているサブウーファーもいっしょにキャリブレーションされる場合、サウンドバーのキャリブレーションはより時間が掛かります。

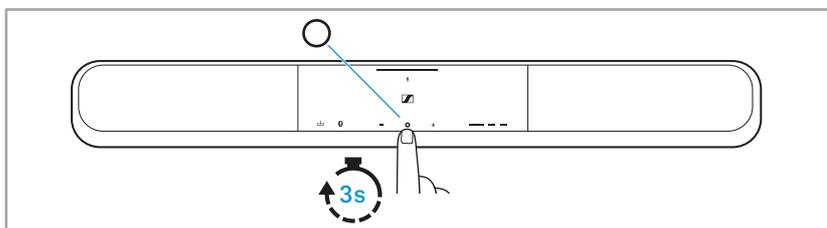


- ▷ キャリブレーションの間はキャリブレーションが正確に実行されなくなるので雑音 (開いた窓、家庭用品等) を避け、サウンドバーに近づきすぎず、サウンドバーのマイクを覆わないでください。キャリブレーションが完了するとサウンドバーからデモメロディが流れます。

キャリブレーションの中断

キャリブレーションを停止するには：

- ▷ サウンドバーの多機能ボタン **o** を 3 秒押し続けます。LED ステータスバーが赤く点灯します。サウンドバーはキャリブレーション後の状態になっておらず、キャリブレーションをやり直してください。



サウンドバーを操作する



警告

大音量による危険！

大音量で長時間聴くと、恒常的な聴覚障害につながる可能性があります。

- ▷ ソースを選択する前に、音量を下げてください。
- ▷ 恒常的に大音量で聞かないでください。

サウンドバーをオンする / オフする

サウンドバーは電源に接続すると自動的にオンになります。

サウンドバーにはサウンドバーをオフにするためのオンオフボタンが備わっています。サウンドバーを使用しないときは自動的に ECO モードに切り替えます (ページを参照してください 43)。

入力ソースからオーディオ再生が開始されると、サウンドバーは ECO モードから自動的にオンになり、入力ソースを再生します。



スタンバイモードの AMBEO Sub がサウンドバーとワイヤレス接続されていれば、サウンドバーのオーディオ再生をスタートさせると直ぐに AMBEO Sub が自動的にオンになります。

多機能ボタン の機能

サウンドバーとサウンドバーのリモコンに多機能ボタン  が備わっています。多機能ボタン  を押したときどの機能が実行されるかは、このボタンを短く何回押すか および音声アシスタント Amazon Alexa がオンになっているかによって異なります。Amazon Alexa は Sennheiser Smart Control App で作動させることができます。

音声アシスタント Amazon Alexa がオフのときの多機能ボタンの機能

ボタン	条件	機能
1 回押す	オーディオコンテンツの再生無し	オーディオ再生のスタート
	再生リストのコントロールが可能な入力ソースの実行中オーディオ再生 (Bluetooth 接続またはネットワーク接続を介したストリーミングなど)	オーディオ再生の一時停止
	再生リストのコントロールができない入力ソース (CD プレーヤーなどのアナログ AUX 入力ソース) を介した実行中のオーディオ再生	サウンドバーのミュート HDMI 入力を介してサウンドが再生される場合、サウンドバーをミュートした後にサウンドは入力ソースの設定に応じて必要であれば、テレビのスピーカーから再生されます。

ボタン	条件	機能
2 回押す	再生リストのコントロールが可能な入力ソースの実行中オーディオ再生 (Bluetooth 接続またはネットワーク接続を介したストリーミングなど)	再生リストの次のタイトルを再生する
3 回押す		再生リストの前のタイトルを再生する

音声アシスタント Amazon Alexa がオンのときの多機能ボタン o の機能

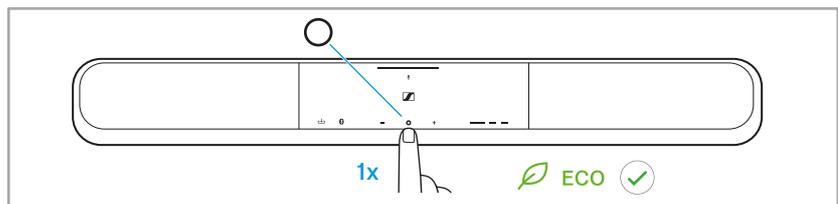
ボタン	条件	機能
1 回押す	-	Amazon Alexa の作動または Amazon Alexa へのコマンド中断。
3 秒間押し続けます	オーディオコンテンツの再生無し	オーディオ再生のスタート
	再生リストのコントロールが可能な入力ソースの実行中オーディオ再生 (Bluetooth 接続またはネットワーク接続を介したストリーミングなど)	オーディオ再生の一時停止
	再生リストのコントロールができない入力ソース (CD プレーヤーなどのアナログ AUX 入力ソース) を介した実行中のオーディオ再生	サウンドバーのミュート HDMI 入力を介してサウンドが再生される場合、サウンドバーをミュートした後にサウンドは入力ソースの設定に応じて必要であれば、テレビのスピーカーから再生されます。

スタンバイ / ECO モード

少なくとも 10 秒間オーディオ再生がないと、サウンドバーは電流節約の ECO モードに切り替えます。サウンドバーの AMBEO ロゴライトが減光され、Sennheiser Smart Control App に ECO (省エネ) ボタンが出ます。

オーディオ再生を一時停止するには以下の方法で行うことができます：

- サウンドバーまたはリモコンの多機能ボタン o を短く押します。
- Smart Control App の再生部分にある「Pause」(一時停止) ボタンをタップします。
- 入力ソース側で再生を停止します。



AMBEO Sub がサウンドバーとワイヤレス接続されていれば、サウンドバーが ECO モードに切換ってから 5 分後に、AMBEO Sub はスタンバイモードに切り替えます。AMBEO Sub がケーブルで接続されていれば、15 経つとスタンバイモードになります。

ネットワーク接続なしでスタンバイを有効にする / 無効にする

ネットワーク接続なしでもサウンドバーを手動でスタンバイさせることができます。ECO モードとは異なり、この場合はサウンドバーのすべてのネットワーク接続も切断されます。

サウンドバーがネットワーク接続なしでスタンバイしているときは、自動的にウェイクアップできません。ネットワーク接続なしのスタンバイは手動で無効にしなければなりません。

ネットワーク接続なしでスタンバイさせる方法：

- ▷ サウンドバーまたはリモコンの多機能ボタン **o** と音量ボタン **-** を同時に押し、ボタンを 5 秒押し続けます。

ネットワーク接続なしでスタンバイをオフにする方法：

- 多機能ボタン **o** を短く押します
- **Source** (ソース) 入力選択ボタンを短く押します。

ネットワーク接続を再度確立しなければならないため、サウンドバーを再びオンにしたとき、再起動に最長 1 分掛かることがあります。

音量を調節する



警告

大音量による危険！

大音量で長時間聴くと、恒常的な聴覚障害につながる可能性があります。

- ▷ ソースを選択する前に、音量を下げてください。
- ▷ 恒常的に大音量で聞かないでください。

サウンドバーまたはリモコンで音量を調整する

音量を少しずつ増減させるには：

- ▷ 音量ボタン **+** (大きく) または **-** (小さく) を短く 1 回押します。

音量を大幅増減させるには：

- ▷ 所望の音量になるまでボタン音量 **+** (大きく) または **-** (小さく) を押し続けます。

Sennheiser Smart Control App で音量を調整する

Sennheiser Smart Control App ではオーディオソースを選んだ後に音量を調整することができます。

- ▷ Smart Control App の再生エリアでスワイプして音量コントロールを動かします。



映画の会話を再生すると声が小さすぎたり大きすぎたりする場合、全体の音量は変えることなくセンターチャンネルの音量を調節できます (ページを参照してください 64)。

ミュートを有効 / 無効にする

スピーカーのミュートを有効にする / 無効にする

ミュートを有効にするには次のことを行います：

- サウンドバーまたはリモコンの多機能ボタン **o** を押します。入力ソースの設定に応じて音声が入力ソース (テレビ受像機等) のスピーカーから再生されます。
- 入力ソース (テレビのリモコン等で) でミュートにします。
- 音量を 0 まで下げます (ページを参照してください 44)。

ミュートを無効にするには次のことを行います：

- ミュートボタンを再度押します。
- 音量を > 0 に調整します (ページを参照してください 44)。

マイクロフォンのミュートを有効にする / 無効にする

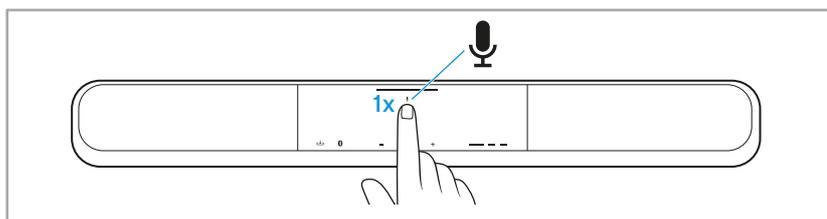
サウンドバーにサウンドバーのキャリブレーションおよび音声アシスタントでのサウンドバーコントロール用に 4 個のマイクがあります。マイクをミュートすると、マイクの電源が切れます。このようにしてマイクが知らないうちに使用されることはありません。

以下の場合にはマイクのミュートを解除してください

- サウンドバーをキャリブレーションする場合または
- 音声アシスタントでサウンドバーを使用する場合。

マイクをミュートするまたはミュートを解除する方法：

- ▷ サウンドバーの **Mic Mute** (マイクミュート) ボタンを押します。



マイクがミュートされると LED-Mic が赤く点灯します。

入力ソースを選択する



警告

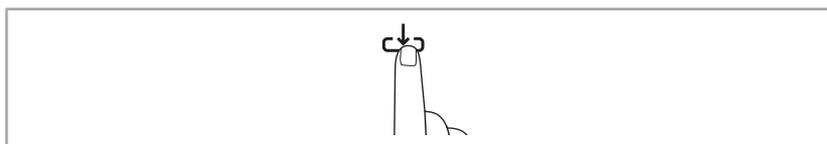
大音量による危険！

大音量で長時間聴くと、恒常的な聴覚障害につながる可能性があります。

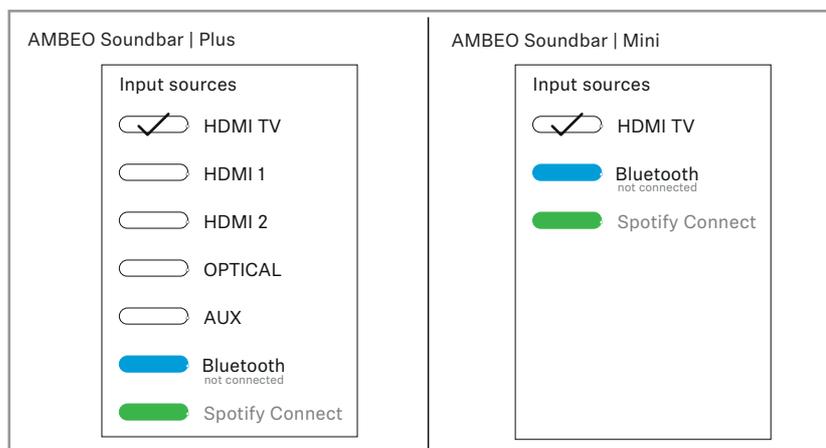
- ▷ ソースを選択する前に、音量を下げてください。
- ▷ 恒常的に大音量で聞かないでください。

Sennheiser Smart Control App で入力ソースを選択する

- ▷ Smart Control App を開きます。
- ▷ Smart Control App の上部にある再生部分で **入力ソース** ボタンをタップします。



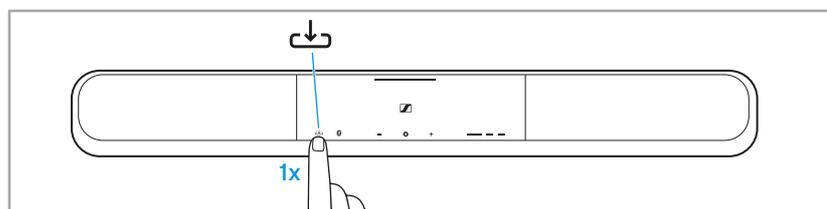
利用可能な入力ソースのリストが出ます。
入りに音声信号が来ていれば、スピーカー アイコンも出ます。



▷ 所望の入力ソースをタップします。

サウンドバーから入力ソースを選択する

▷ 利用可能な入力ソースの間で切替えるには **Source** (ソース) 入力選択ボタンを使用してください。
Source (ソース) 入力選択ボタンでは接続されておりかつオンになっている入力ソースしか切替わりません。



i 1つの入力のみオンになっている音源が接続されている場合、入力ソースの切替はできません。このとき LED ステータスバーが赤く点滅します。

リモコンで入力ソースを選択する

▷ 利用可能な入力ソースを切替えるには **Source+** (ソース+) と **Source-** (ソース-) 入力選択ボタンを使用してください。
Source+ (ソース+) と **Source-** (ソース-) 入力選択ボタンでは接続されておりかつオンになっている入力ソースしか切替わりません。

ストリーミングソース

ストリーミングソース (Tidal Connect 等) は Spotify Connect の例外はありますが、**Source** (ソース) 入力選択ボタンで選択します。

Spotify Connect を使用する場合は、**Source** (ソース) 入力選択ボタンで直前の再生リストを呼出すことができます。

ストリーミングサービスを介して再生が開始されると、サウンドバーは自動的にストリーミングソースに切替わります。

ストリーミングソースとの接続が切断されると、サウンドバーは前のソースに切り替わります。

i ストリーミング サービス Spotify Connect をサウンドバーがオンになると自動的に開始させ、次に **Source** (ソース) 入力選択ボタンで入力ソースに選択します。

このためには Sennheiser Smart Control App で **Services** (サービス) メニューのサブメニュー **Spotify Connect** (Spotify Connect) から 「Auto-play Function」 機能を有効にします (ページを参照してください 59)。

入力ソースの名前とカラーを調整する

入力ソースを選択した場合、入力ソースの名前が Smart Control App の再生部分に表示されます。入力ソース Bluetooth と Spotify Connect は例外として入力ソース名を Smart Control App で変更することができます。

さらに、入力ソース Bluetooth と Spotify Connect は例外として入力ソース別にカラーの割当ができます。サウンドバーの LED ステータスバーは現在有効な入力ソースのカラーで点灯します。

- ▷ Smart Control App を開きます。
- ▷ Sennheiser Smart Control App のヘッダーのいちばん上にある **Settings** (設定) 設定メニューをタップします。
- ▷ 設定メニュー **Settings** (設定) で **Input** (入力) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストの **Input names** (入力名) 項目をタップします。
- ▷ 名前または LED カラーを変更したい入力ソースの横にあるペンアイコンをタップします。
- ▷ 入力フィールドに名前を記入するか LED カラーをタップします。
- ▷ 選択を **OK** (OK) ボタンで確定します。

入力ソース Bluetooth と Spotify Connect を調整することはできません。

サウンドバーを使用する

サウンドバーを Bluetooth 機器と接続する

Bluetooth 無線通信に関する情報

サウンドバーは標準の Bluetooth 5.0. を使用することができます。

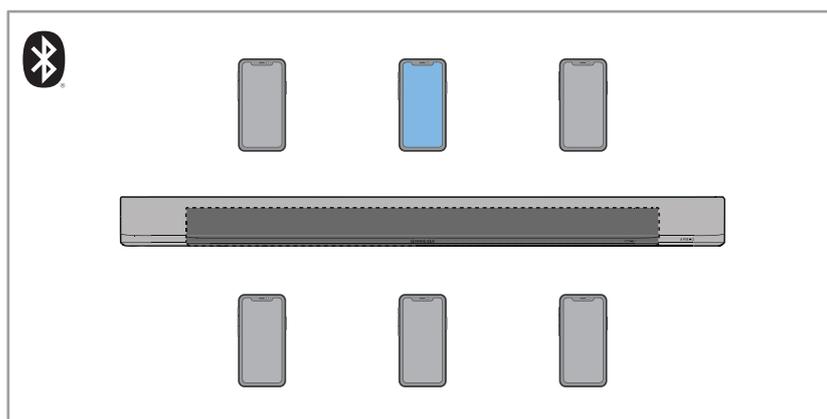
オーディオソースが高解像度オーディオコーディング処理 AAC をサポートしていれば、音楽は自動的に高品質で再生されます。それ以外の場合は、サウンドバーは音楽を通常の音質 (SBC) で再生します。

サウンドバーは「Bluetooth」入力選択の際に、あるいは最後に使用した入力「Bluetooth」でオンになる際に、自動的に最後に使用した Bluetooth 機器に接続しようとします。

サウンドバーは 6 台までのペアリング済み Bluetooth 機器の接続プロファイルを保存することができます。

サウンドバーが 7 台目の Bluetooth 機器とペアリングされると、最も使用頻度の低い Bluetooth 機器の接続プロファイルが上書きされます。後からこの Bluetooth 機器と接続する場合、サウンドバーを再度ペアリングしてください。

ある装置が接続されているとき、新しい装置を接続するにはまずこの装置を切り離す必要があります。



ペアリングされている、接続されている



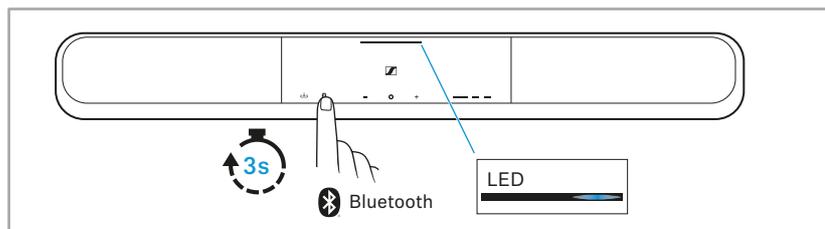
ペアリングされているが未接続

AMBEO サウンドバーを Bluetooth 機器とペアリングする

Sennheiser Smart Control App を使用せずに Bluetooth 接続を確立する方法：

- ▷ Bluetooth 機器の Bluetooth を作動させてください。
- ▷ サウンドバーのペアリングモードをスタートさせるにはサウンドバーの Bluetooth ボタンを 3 秒以上押し続けます。サウンドバーがペアリングモードにあるときサウンドバーの LED ステータスバーが青く点滅します。

サウンドバーを使用する



- ▶ Bluetooth 機器をサウンドバーから約 20 cm の距離に保ってください。
- ▶ Bluetooth 機器のメニューで Bluetooth 機器の検索を有効にします。
スマートフォンの近くにあるすべての有効な Bluetooth 機器が表示されます。
- ▶ 見つかった Bluetooth 機器 から「AMBEO Soundbar」を選択してください。必要な場合は、PIN コード「0000」を入力します。
ペアリングが成功すると LED ステータスバーが青く点灯します。

i 3 分以内に接続できないときは、ペアリングモードが終了します。必要な場合はペアリングモードをもう一度開始します。

Sennheiser Smart Control App での Bluetooth 接続確立方法は次の通りです：

- ▶ Bluetooth 機器の Bluetooth を作動させてください。
- ▶ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Network** (ネットワーク) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。
- ▶ ドロップダウンリストから **Bluetooth** (Bluetooth) 項目をタップすると、**Bluetooth** (Bluetooth) メニューが開きます。
Your Devices (使用機器) の部分にサウンドバーとペアリングされた Bluetooth 機器が表示されます。
Other Devices (他の機器) の部分にペアリングされていない Bluetooth 機器が表示されます。

Bluetooth (Bluetooth) メニューではサウンドバーをリストにある Bluetooth 機器と直接ペアリングするかまたはペアリングモードをスタートさせることができます。

サウンドバーをリストにある Bluetooth 機器と直接ペアリングする方法：

- ▶ **Your Devices** (使用機器) または **Other Devices** (他の機器) の部分で表示されている Bluetooth 機器の 1 つをタップします。
サウンドバーは選択された Bluetooth 機器とのペアリングを試みます。

ペアリングモードをスタートさせる方法：

- ▶ **Start Bluetooth Pairing** (Bluetooth ペアリングスタート) ボタンをタップします。

AMBEO サウンドバーと Bluetooth 機器の接続を切る

Bluetooth 機器との接続を切断する方法：

- ▶ お使いの Bluetooth 機器のメニューでサウンドバーへの接続を切ってください。

Sennheiser Smart Control App で接続を切断する方法：

- ▶ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Network** (ネットワーク) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。

サウンドバーを使用する

- ▷ ドロップダウンリストから **Bluetooth** (Bluetooth) の項目をタップします。
- ▷ ペ어링済み機器をタップします。
- ▷ 切断したい Bluetooth 機器との接続を切断するには **Disconnect** (Trennen) ボタンをタップします。

サウンドバーから接続を切断するには：

- ▷ 操作パネルで **Bluetooth** (Bluetooth) ボタンを一回タップします。

ネットワーク接続を WiFi または イーサネットを介してセットアップする

WiFi 接続またはイーサネット接続を次のことに利用します：

- Sennheiser Smart Control App によるサウンドバーのコントロール
- Apple AirPlay、Google Chromecast、Spotify Connect、Tidal Connect を介するストリーミング。
- 音声アシスタント Alexa と OK Google の有効化
- ファームウェア更新のダウンロード

i サウンドバーがケーブルでインターネット / イーサネットに接続されると、サウンドバーの WiFi 機能は自動的に無効になります。

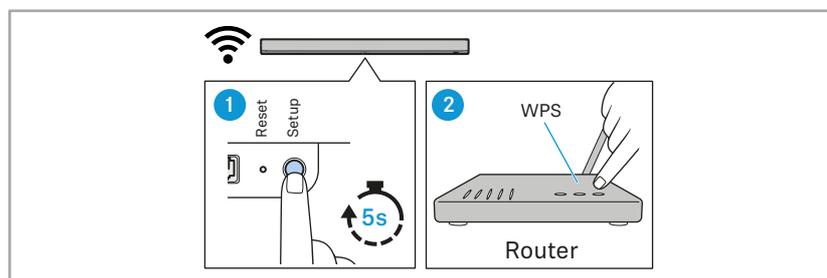
WiFi 接続を確立する

WiFi を介して接続する方法：

- ▷ サウンドバー セットアップ ボタンを約 5 秒押し続けます。WPS (WiFi 保護セットアップ) が作動します。サウンドバーが接続を検索します。

i 2 分以内に接続が確立できないとサウンドバー検索はを終了します。必要な場合は検索をもう一度開始します。

- ▷ ルーターの WPS ボタンを押します。サウンドバーが W L A N に接続されます。
- ▷ このときサウンドバーがサウンドバーと通信させたい機器と同じネットワークに接続されていることを確認してください。



イーサネット接続を確立する

- ▷ イーサネットケーブルが正しくサウンドバーとそのネットワークに接続されていることを確認します (ページを参照してください 33)。

Sennheiser Smart Control App でのネットワーク接続管理

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Network** (ネットワーク) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ 接続しようとしている手段に応じてドロップダウンリストから **WiFi** (WiFi) または **Ethernet** (イーサネット) をタップします。
- ▷ WiFi 接続またはイーサネット接続を必要に合わせて調整します。

Sennheiser Smart Control App によるサウンドバーの設定調整

Smart Control App を使ってサウンドバーのコントロールやネットワーク設定の調整、ストリーミング - サービスおよび音声アシスタントの有効化、さらにサウンドバーのサウンドをご自分のニーズに合わせて調整することができます。

Smart Control App の主な設定は以下の節でご説明しています。

Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューから以下の設定を確認したり調整することができます：

メニューレベル 1	メニューレベル 2	説明	リンク
Network (ネットワーク)	WiFi (WiFi)	WiFi 接続を管理します。	ページを参照してください 50
	Ethernet (イーサネット)	AMBEO サウンドバー プラスのみイーサネット接続を管理します。	
	Bluetooth (Bluetooth)	Bluetooth 接続を管理します。	
Audio (オーディオ)	Calibration (キャリブレーション)	キャリブレーションを開始するか、サウンドバーのキャリブレーションステータスを確認するあるいはスペースキャリブレーションのデータ使用を有効化 / 無効化できます。	ページを参照してください 55、ページを参照してください 57、
	Center Settings (センター設定)	センターの音量を調節します。	ページを参照してください 64
	サブウーファー (サブウーファー)	サブウーファーを管理します (接続や切断、低音音量の調節等)。	ページを参照してください 55
Codec (コーデック)	[Codec Name] Settings ([コーデック名] 設定)	使用しているオーディオコーデックの設定を調整します。入力ソースしだいで使用されるオーディオコーデックは異なります。	ページを参照してください 57

サウンドバーを使用する

メニューレベル 1	メニューレベル 2	説明	リンク
Input (入力)	Lip sync (リップ同期)	オーディオ再生の遅延を調整してオーディオコンテンツやビデオコンテンツを相互に調整します。	
	Input names (入力名)	入力ソース名と LED カラーを割り当てます。	ページを参照してください 47
	CEC Control (CEC コントロール)	CEC の設定を調整します。CEC によって入力ソースの制御信号がサウンドバーに伝送されます。	
	Auto Wake Up In AUX (AUX でのオーディオウェイクアップ)	AMBEO サウンドバー プラスのみ 「Auto Wake Up In AUX」機能をソフトウェアスイッチでオンにすると AUX 入力信号を受けたサウンドバーは ECO モードからウェイクアップします。	
	Auto Wake Up In OPT (OPT でのオートウェイクアップ)	AMBEO サウンドバー プラスのみ 「Auto Wake Up In OPT」機能をソフトウェアスイッチでオンにすると、光学入力信号を受けたサウンドバーは ECO モードからウェイクアップします。	
User Interface (ユーザーインターフェース)	LEDs (LED)	LED の明るさを調節してください。	
	Sound Feedback (サウンドフィードバック)	オートフィードバックはソフトウェアスイッチでオン/オフします。	

サウンドバーを使用する

メニューレベル 1	メニューレベル 2	説明	リンク
System (システム)	Firmware (ファームウェア)	最新ファームウェアバージョンおよび利用可能なファームウェア更新を確認できます。	ページを参照してください 66
	Language (言語)	サウンドバーのウェブブラウザ言語を設定します。	ページを参照してください 40
	Soundbar name (サウンドバーの名前)	サウンドバーに名前を付けてください。	
	Country (国)	サウンドバーをご使用になる地域を設定します (WiFi 設定用等)。	
	Restart Soundbar (サウンドバーを再起動)	サウンドバーを再起動します。	
	Reset (リセット)	サウンドバーのリセットは3つの方法でできます。 <ul style="list-style-type: none"> サウンドバーのすべての設定をリセット。 サウンドバーのネットワーク設定をリセット。 スペースキャリブレーションのデータをリセット。 	ページを参照してください 66
	サブウーファー (サブウーファー)	サブウーファーを管理します (接続や切断、低音音量の調節等)。	ページを参照してください 55

メニューレベル 1	メニューレベル 2	説明	リンク
Services (サービス)	Google Chromecast (Google Chromecast)	Google Chromecast (グーグル・クロームキャスト) をお使いのサウンドバー用にセットアップしてください。	ページを参照してください 59
	Tidal Connect (タイダル・コネクト)	Tidal Connect (タイダル・コネクト) をお使いのサウンドバー用にセットアップしてください。	
	AirPlay (エアプレイ)	Apple AirPlay (アップル・エアプレイ) をお使いのサウンドバー用にセットアップしてください。	
	Spotify Connect (Spotify Connect)	お使いのサウンドバー用に Spotify Connect をセットアップしてください。	
	Add services (サービスの追加)	音声アシスタント等の他のサービスをお使いのサウンドバー用にセットアップするか、ストリーミング - サービス用の設定を行います。	ページを参照してください 59、ページを参照してください 60
Info (情報)	Licences (ライセンス情報)	ライセンス情報を確認できません (データ保護規定、利用規約)	
	Device Information (装置情報)	シリアルナンバーやネットワーク接続状況、ファームウェア ID 等の装置情報を確認してください。	

「Settings」 (設定) 設定メニューを開く

- ▷ Smart Control App を開きます。
- ▷ Smart Control App のヘッダーのいちばん上にある **Settings** (設定) 設定メニューをタップします。

サブメニューを終了し、前のメニューに戻ります。

- ▷ メニュー名の横の矢印をタップします。
サブメニューが閉まるので、前のメニューレベルに戻ります。

「Settings」 (設定) 設定メニューを終了する

- ▷ Sennheiser Smart Control App のヘッダー最上部の **My Device** (マイデバイス) をタップします。

ソフトウェアスイッチを操作する

Smart Control ソフトウェアの一部の機能はソフトウェアスイッチで有効にしたり無効にしたりできます。

シンボル	説明
	機能が無効なときソフトウェアスイッチはグレースアウトしています。 ソフトウェアスイッチをタップすると機能が有効になります。
	機能が有効なとき、ソフトウェアスイッチは青くハイライトされています。 ソフトウェアスイッチをタップすると機能が無効になります。

Sennheiser Smart Control App でスペースキャリブレーションのデータを管理する

スペースキャリブレーションが完了したら、サウンドバーはキャリブレーションから得られたデータを使用して可能な限り周囲に調和が取れた 3D サラウンドを生成することができます。

Sennheiser Smart Control App ではサウンドバーによってこれらのデータの使用を有効または無効にできます。

サウンドバーは様々なデータセットを保存できます：サブウーファーありでのキャリブレーションデータとサブウーファーなしでのキャリブレーションデータ。

サウンドバーと接続されたサブウーファーが無効にされるまたはサウンドバーから切断されると、サウンドバーはサブウーファーなしでの前のキャリブレーション（行った場合）のデータを使用します。

スペースキャリブレーションのデータ使用を有効 / 無効にする：

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Audio** (オーディオ) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストから **Calibration** (キャリブレーション) をタップします。
- ▷ **Calibrated Sound** (キャリブレーションを行ったサウンド) の部分でソフトウェアスイッチからスペースキャリブレーションのデータ使用を有効 / 無効にします。

「Dolby Virtualizer」(ドルビー・バーチャライザー) を使用していれば、「Dolby Virtualizer」が有効なかぎりスペースキャリブレーションのデータは自動的に使用できなくなり、有効にもできません(ページを参照してください 57)。

Sennheiser Smart Control App でサブウーファーを管理する

Sennheiser Smart Control App で無線により AMBEO Sub をサウンドバーと接続する

AMBEO Sub がサウンドバーとすでに無線接続されていれば、Smart Control App で追加の AMBEO Sub をサウンドバーとワイヤレスで接続できます。

- ▷ サウンドバーと AMBEO Sub が電源に接続されていることを確認してください。
- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Audio** (オーディオ) または **System** (システム) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。

- ▶ ドロップダウンリストから **Subwoofer** (サブウーファー) をタップします。
- ▶ **Add a new Subwoofer** (サブウーファー追加) をタップして Smart Control App の指示に従います。

Sennheiser Smart Control App で接続されている AMBEO Sub のペアリング設定を削除する

サウンドバーが AMBEO Sub とワイヤレス接続されていれば、サウンドバーは AMBEO Sub のペアリング設定を保存します。接続されている AMBEO Sub をサウンドバーから切断するには接続されているすべての AMBEO Sub のペアリング設定を削除しなければなりません。AMBEO Sub 1 つのみのペアリング設定を削除することはできません。

- ▶ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Audio** (オーディオ) または **System** (システム) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▶ ドロップダウンリストから **Subwoofer** (サブウーファー) をタップします。
- ▶ **Remove all** (すべて削除) をタップします。
接続されているすべての AMBEO Sub のペアリング設定が削除された後は、必要に応じて新たに AMBEO Sub をペアリングできます。

Sennheiser Smart Control App でサブウーファーをオフ / オンにする

Smart Control App で接続されているすべてのサブウーファーを無効にすることができます。削除した後、オーディオ再生にサブウーファーは使用されなくなります。サブウーファーとサウンドバーの接続を切断する必要はありません。サブウーファーを 1 台だけ無効にすることはできません。

接続されたサブウーファーを無効にする方法：

- ▶ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Audio** (オーディオ) または **System** (システム) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▶ ドロップダウンリストから **Subwoofer** (サブウーファー) をタップします。
Subwoofer (サブウーファー) メニューが開きます。
- ▶ **Subwoofer** (サブウーファー) の横のソフトウェアスイッチをタップします。
接続されているすべてのサブウーファーが無効にされます。

接続されているサブウーファーを再度有効にする方法：

- ▶ Smart Control App の **Subwoofer** (サブウーファー) メニューで **Subwoofer** (サブウーファー) の横にあるグレーアウトされたソフトウェアスイッチをタップします。
接続されているすべてのサブウーファーが有効になります。

AMBEO Sub の音量を調節する

- ▶ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Audio** (オーディオ) または **System** (システム) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▶ ドロップダウンリストから **Subwoofer** (サブウーファー) をタップします。
Subwoofer (サブウーファー) メニューが開きます。
- ▶ スライダーを **Volume** (音量) の部分で動かして AMBEO Sub の音量を増減調節します。

サブウーファーでスペースキャリブレーションを開始する

サブウーファーがサウンドバーと再度接続されてからスペースキャリブレーションを実行できます。

スペースキャリブレーションをスタートさせる方法：

- Sennheiser Smart Control App 起動画面の **System Calibration** (キャリブレーション開始) 部分の **Start** (スタート) ボタン (ページを参照してください 41)
- サウンドバーの音量ボタン **+** と **-** (ページを参照してください 41)
- **Calibration** (キャリブレーション) メニューの **Start calibration** (キャリブレーション開始) ボタン
- **サブウーファー** (サブウーファー) メニューの **Calibrate now** (今キャリブレーションする) ボタン

キャリブレーションを開始する前の確認事項

- サウンドバーが電源に接続されオンになっている (ページを参照してください 37)
- サブウーファーが電源に接続されオンになっている (ページを参照してください 38)
- サウンドバーのマイクがミュートされていない (ページを参照してください 45)
- サウンドバーとサブウーファーをキャリブレーションする空間が静かである

サブウーファー (サブウーファー) メニューでスペースキャリブレーションをスタートさせる方法：

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Audio** (オーディオ) または **System** (システム) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストから **Subwoofer** (サブウーファー) をタップします。
Subwoofer (サブウーファー) メニューが開きます。
キャリブレーションが必要になると、**Calibrate now** (今キャリブレーションする) ボタンが表示されます。
- ▷ **Calibrate now** (今キャリブレーションする) ボタンをタップしてスペースキャリブレーションをスタートさせます。
- ▷ Smart Control App に出る指示に従って進めてください。

スペースキャリブレーションを **Calibration** (キャリブレーション) メニューからスタートさせる方法：

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Calibration** (キャリブレーション) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストから **Calibration** (キャリブレーション) をタップします。
Calibration (キャリブレーション) メニューが開きます。
- ▷ **Start calibration** (キャリブレーション開始) ボタンをタップしてスペースキャリブレーションをスタートさせます。
- ▷ Smart Control App に出る指示に従って進めてください。

オーディオコーデックの設定調整

入力ソースを介して以下のコーデックの1つが有効な場合、Sennheiser Smart Control App でコーデックの設定を調整できます：

- Dolby

サウンドバーを使用する

- DTS
- MPEG-H

i メニュー **Codec** にはサウンドバーが現在処理しているチャンネル数 (例 7.1.4 再生での 12 チャンネル) と現在使用されているコーデックが表示されます。

Dolby コーデックの設定オプション

パラメータ	意味
Loudness Management (音ラウドネスの管理)	ソフトウェアスイッチ「Loudness Management」(ラウドネス管理)をオンにすると、背景ノイズ/BGMの音量が下がり、会話トラックが聞こえやすくなります。
Dynamic Range Control (ダイナミックレンジコントロール)	オーディオ信号のダイナミックレンジを圧縮して、静かな音声と大きな音声のバランスを取ります。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF: オーディオ信号は圧縮されません。 • High: オーディオ信号は大きく圧縮されます。 • AUTO: オーディオ信号は自動圧縮されます。音量の変更は再生中に聞こえてわかります。
Dolby Virtualizer (Dolby ビジュアライザー)	「Dolby Virtualizer」(ドルビー・バーチャライザー)をソフトウェアスイッチで有効にすると Dolby オーディオコンテンツを変化なく再生させることができます。 「Dolby Virtualizer」(ドルビー・バーチャライザー)を有効にすると、以下の設定と機能は使えなくなります: <ul style="list-style-type: none"> • サウンドプロファイル • AMBEO • Equalizer (イコライザー) • スペースキャリブレーションデータ (Dolby Virtualizer が有効である限りスペースキャリブレーションで得たデータを Dolby オーディオコーデックの再生中は使用することができません。)

DTS コーデックの設定オプション

パラメータ	意味
Neural:X Disabled (ニュートラル:X 無効)	ソフトウェアスイッチで DTS オーディオコンテンツのアップミキシングを有効にして、入力ソースにステレオ信号が1つしかないときでもイマーシブなサウンド体験をすることができます。
Dynamic Range Control (ダイナミックレンジコントロール)	オーディオ信号のダイナミックレンジを圧縮して、静かな音声と大きな音声のバランスを取ります。スライダーを「OFF」と「100%」の間で動かします <ul style="list-style-type: none"> • OFF: オーディオ信号は圧縮されません。 • 100%: 大きい音声は小さめに、小さい音声は大きめになります。
Dialog Control (ダイアログコントロール)	背景の雑音/BGMを小さくして会話トラックが聞こえやすくなるようにするにはスライダーを動かします。

MPEG-H コーデックの設定オプション

パラメータ	意味
Dialog Normalization (ダイアログ正規化)	ソフトウェアスイッチで「Dialog Normalization」(会話正規化)を有効にすると、背景ノイズ/BGMの音量が下がり、会話トラックが聞こえやすくなります。
Dynamic Range Control (ダイナミックレンジコントロール)	オーディオ信号のダイナミックレンジを圧縮して、静かな音声と大きな音声のバランスを取るか、大きな音声の音量を大きくします。 その際はスライダーを「Compression」(圧縮)、「OFF」、「Boosting」(ブースト)の間で動かします。 <ul style="list-style-type: none"> 圧縮: 大きい音声は小さめに、小さい音声は大きめになります。 OFF: オーディオ信号は圧縮されません。 BOOSTING: 大きい音声の音量がさらに大きくなります。

設定する

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Codec** (コーデック) ボタンをタップします。
アクティブなコーデックとチャンネル数が表示されます。
- ▷ コーデック名をタップします。
アクティブなコーデックのサブメニューが開きます。
- ▷ アクティブなコーデックの所望の設定を行います。

ストリーミング - サービスを使用する

Sennheiser Smart Control App でストリーミング - サービスを介したオーディオ再生をオンにすることができます。ストリーミングサービスを使用するにはストリーミングサービスのアカウントが前提です。納入時に以下のサービスが利用可能です。

- Tidal Connect
- Spotify Connect
- Chromecast 組み込み
- Works with Apple AirPlay (Apple AirPlay を使った操作)

ストリーミングサービスをセットアップする

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Services** (サービス) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ 使いたいサービスをタップしてストリーミングソースとしてセットアップします。

ストリーミング - サービスの設定を調整する

Smart Control App でストリーミング - サービス用の他の設定を行うことができます。

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Services** (サービス) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。

- ▷ ドロップダウンリストから [Add services](#) (サービス追加) を選択します。
[Set up your services](#) (サービスセットアップ) メニューが開きます。
- ▷ 所望の設定を行います。

音声アシスタントをオンにして使用する

サウンドバーはオプションの以下の音声アシスタントと接続することができます：

- Alexa (内蔵)
- OK Google (操作)

このためには音声アシスタント別のアカウントを持っていることが前提です。

音声アシスタントは納入時に無効になっています。音声アシスタントを使用するには Sennheiser Smart Control App で最初に有効にします。

Amazon Alexa はサウンドバーに内蔵されて一体化されており、すべての機能をご利用になれます。サウンドバーのマイクでコントロールします。

Google 音声アシスタントを使用して制御するには、音声コマンドをアクションに変換する追加のスマートデバイスが必要です (サウンドバーのマイクでコントロールしません)。サウンドバーはここで例えばスピーカーとしてスマートフォンと接続して使用することができます。

音声アシスタントをオンにする

- ▷ Smart Control App の [Settings](#) (設定) 設定メニューで [Services](#) (サービス) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストから [Add services](#) (サービス追加) を選択します。
[Set up your services](#) (サービスセットアップ) メニューが開きます。
- ▷ [Setup](#) (セットアップ) の部分で使いたい音声アシスタントをオンにします。

音声アシスタントの使用上の注意

音声アシスタントをサウンドバーで使用するには、サウンドバーのマイクがミュートされていないことを確認してください (ページを参照してください 45)。

音声アシスタント Amazon Alexa がオンになるとサウンドバーとリモコンの多機能ボタン **○** の機能が変化することにご注意ください (ページを参照してください 42)。Alexa がオンになっていれば、多機能ボタン **○** で Alexa を作動させるか Alexa へのコマンドを中止できます。

音声アシスタントがシグナルワード (例えば 「Okay Google」 や 「Alexa」) で、また Amazon Alexa の場合は多機能ボタン **○** を押してオンになりコマンドを処理すると、オーディオ再生音量が瞬間小さくなります。これによって音声アシスタントがコマンドを聞き取ることができるようになります。

オーディオ再生を制御する

オーディオ再生は入力ソースが選択された後に可能になります。

オーディオ再生の制御方法：

- Sennheiser Smart Control App の再生部分にあるコンテキスト依存ボタン
- サウンドバーまたはリモコンの多機能ボタン **o** (ページを参照してください 42)

オーディオ再生を終了する

オーディオ再生を終了する方法：

- Sennheiser Smart Control App の再生部分にあるコンテキスト依存ボタンでオーディオ再生を終了します。
- サウンドバーまたはリモコンの多機能ボタン **o** を短く押します (ページを参照してください 42)。
- オーディオ再生を入力ソース (テレビ等) で終了します。

i 少なくとも 10 秒オーディオが再生されないと、サウンドバーは自動的に ECO モードになります。

サウンドプロファイルを選択する

納入時にサウンドバーは設定済みのいくつかのサウンドプロファイルが備わっています。サウンドプロファイルは異なるオーディオコンテンツの再生用に最適化されています (音楽、ニュース放送、映画等)。

以下のサウンドプロファイルが利用可能です：

- **Adaptive** (アダプティブ)
サウンドプロファイル **Adaptive** (アダプティブ) の設定は再生中自動的に変わります。この方法ではサウンドプロファイルが再生中のコンテンツに連続的に調節されます。
- **Music** (音楽)
サウンドプロファイル **Music** (音楽) は音楽の再生用に最適化されています。
- **Movie** (映画)
サウンドプロファイル **Movie** (映画) は映画の再生用に最適化されています。
- **News** (ニュース)
サウンドプロファイル **News** (ニュース) はニュースの再生用に最適化されています。
- **Neutral** (ニュートラル)
サウンドプロファイル **Neutral** (ニュートラル) では入力ソースのサウンドがそのまま再生されます。
- **Sports** (スポーツ)
サウンドプロファイル **Sports** (スポーツ) はスポーツ放映の再生用に最適化されています。

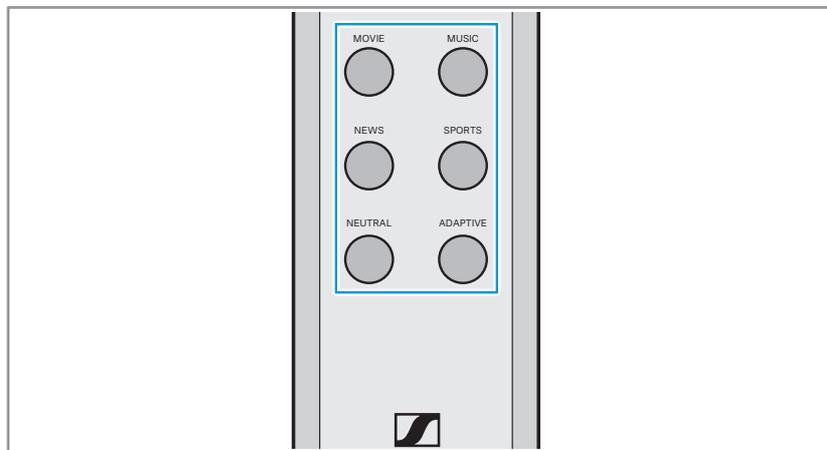
入力ソース用のサウンドプロファイルを有効にすると、この入力ソースのサウンドプロファイルは他のサウンドプロファイルをこの入力ソースに有効にするまで保存されています。

サウンドバーのリモコンと Sennheiser Smart Control App を使うとオーディオ再生中でもサウンドプロファイルを切替えることができます。

サウンドプロファイルを有効にする

サウンドバーのリモコンでサウンドプロファイルを有効にする方法：

- ▷ 所望のサウンドプロファイルのサウンドプロファイルボタンを押します。



Sennheiser Smart Control App でサウンドプロファイルを有効にする方法：

- ▷ Smart Control App を開きます。
- ▷ 所望のサウンドプロファイルをタップします。
現在有効なサウンドプロファイルにチェックマークが付きます。

i 音響を変化なく再生させたい場合、サウンドプロファイル **Neutral** にしてその他の調整なくご使用ください。

サウンドプロファイルを調整する

サウンドプロファイルのサウンド設定を編集して自分の好みに合わせられます。

- ▷ 所望のサウンドプロファイルを有効にします。
Edit (編集) ボタンが出ます。
- ▷ **Edit** (編集) ボタンをタップします。

サウンドプロファイル設定メニューが開きます。

サウンドプロファイル設定メニューで行える設定：

- **AMBEO 3D Sound** (AMBEO 3D サウンド)
AMBEO が有効な時 (ページを参照してください 63)、3つのモードのうち1つを選択して AMBEO 3D サラウンドイフェクトを設定できます：
 - **Light** (ライト)
軽めの AMBEO サラウンド
 - **Regular** (レギュラー)
通常の AMBEO サラウンド
 - **Boost** (ブースト)
最大の AMBEO サラウンド
- **Foundation** (ファウンデーション)
周波数帯の低音を調整します。
- **Low-Mid** (低音 - 中音)
低～中音帯域を調整します。
- **Clarity** (明瞭さ) と **Brilliance** (華々しさ)
周波数帯の高音を調整します。

- **Preset reset** (プリセットをリセット)
サウンドプロファイルを基本設定にリセットします。

AMBEO を有効にする / 無効にする

AMBEO を有効にする方法：

- ▷ Sennheiser Smart Control App を開きます。
- ▷ **AMBEO** (AMBEO) 部分で **On** (オン) ボタンをタップします。
AMBEO がオンになり、ボタンの背景が青くなります。

AMBEO を無効にする方法：

- ▷ **AMBEO** (AMBEO) 部分で **Off** (オフ) ボタンをタップします。
AMBEO がオフになり、ボタンの青い背景が消えます。

各サウンドプロファイル用の AMBEO イフェクトをさらに調整します (ページを参照してください 61)。

ナイトモード 「Night」 (ナイト) を有効にする / 無効にする

ナイトモード 「Night」 (ナイト) でサウンドバーは低音を再生しません。

ナイトモード 「Night」 (ナイト) はサウンドプロファイルに追加することができます。ナイトモードはサウンドプロファイル全体に適用されます。

ナイトモード 「Night」 (ナイト) が有効になると、サウンドバーの LED ステータスバーが紫に点灯します。

リモコンによるナイトモード 「Night」 の有効化 / 無効化

- ▷ リモコンの **Night** モードボタンを押します。

Sennheiser Smart Control App でナイトモード 「Night」 を有効 / 無効にする

- ▷ Smart Control App の **Night Mode** (無いとモード) 表示の横にあるソフトウェアスイッチをタップします。
ナイトモード 「Night」 (ナイト) が有効なときソフトウェアスイッチが青くハイライトされます。

音声モード 「Voice」 (ボイス) を有効 / 無効にする

音声モード 「Voice」 (ボイス) では話し声が特に明瞭で聞こえやすく出力されます。

音声モード 「Voice」 (ボイス) はサウンドプロファイルに追加できます。音声モードはすべてのサウンドプロファイルに共通して適用されます。

音声モード 「Voice」 (ボイス) がオンになるとサウンドバーの LED ステータスバーがライトブルーに点灯します。

リモコンで音声モード 「Voice」 を有効にする / 無効にする

- ▷ リモコンの **Voice** (ボイス) モードボタンを押します。

Sennheiser Smart Control App で音声モード「Voice」を有効にする / 無効にする

- ▷ Smart Control App で **Voice Enhancement** (音声改善) 表示の横のソフトウェアスイッチをタップします。
音声モード「Voice」(ボイス) が有効なとき、ソフトウェアスイッチが青く強調表示されます。

i 映画の会話を再生すると声が小さすぎたり大きすぎたりする場合、全体の音量は変えることなくセンターチャンネルの音量を調節できます (ページを参照してください 64)。

センターチャンネルの音量を調整する

マルチチャンネル再生時例えば映画の会話でにセンターチャンネルの音量は全体の音量を変えずに大きくも小さくもできます。

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **Audio** (オーディオ) ボタンをタップします。
ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストの **Center Settings** (センター設定) 項目をタップします。
- ▷ スライダーをお望みの設定に動かします (-3 dB ~ +6 dB)。

サウンドバーのお手入れとメンテナンス

サウンドバーを清掃する

注意

液体は製品の電子部品を破壊するおそれがあります！

製品の筐体の中に液体が入ると短絡の原因となり、製品の電子部品を破壊することにつながりかねません。

- ▷ あらゆる種類の液体を当製品に近づけないでください。
- ▷ 溶剤や洗剤は使用しないでください。

- ▷ 製品は柔らかい乾いた布を使って清掃してください。
サウンドバーの上張り材は取り外しできません。
- ▷ 上張り材は柔らかいブラシで清掃してください。

リモコンのバッテリーを交換する

リモコンの受信範囲が著しく低下した場合、リモコンのバッテリーを交換する必要があります。

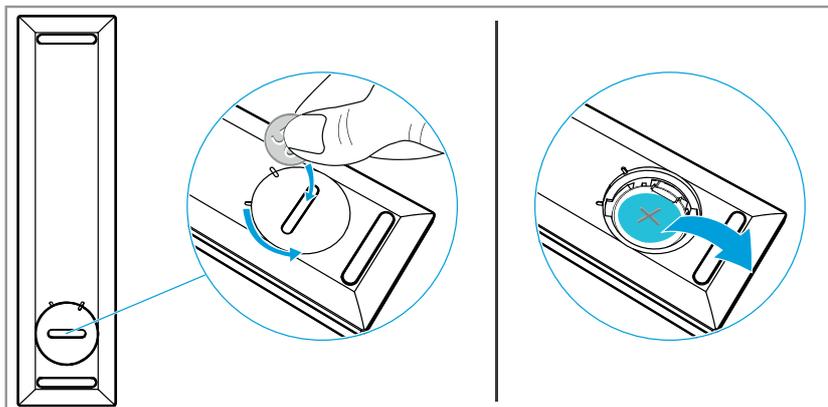


注意

事故の危険！

誤った取り扱い方、特にバッテリーを飲み込むなどすると、ケガおよび健康被害につながる恐れがあります。

- ▷ リチウムバッテリーの安全に関する注意事項を参照してください（ページを参照してください3）。
 - ▷ バッテリーは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▷ 適切な物（硬貨など）で反時計方向に回して、バッテリー収納部を開きます。
 - ▷ 古いバッテリーを取り出します。環境を保護するため、使用済みバッテリーは回収所または専門の取扱店に返却してください。
 - ▷ 新しいセル電池（タイプ CR2032、3V）をバッテリー収納部に挿入します。バッテリーを挿入する際には、極性に注意します。
 - ▷ 時計方向に回して、バッテリー収納部を閉じます。



ファームウェアの更新をインストールする

ファームウェアの更新は無料ででき、製品の改良や機能の拡張にも役立ちます。Sonova Consumer Hearing では製品の最善の動作保証するため最新バージョンのファームウェアをインストールすることを推奨します。

サウンドバーと AMBEO Sub のファームウェアは USB メモリーでまたはインターネットから Sennheiser Smart Control App を使って更新することができます。

Sennheiser Smart Control アプリ経由の更新

Smart Control アプリを使ってファームウェアを更新するには、サウンドバーが WiFi またはイーサネット経由でインターネットに接続されている必要があります（ページを参照してください 50）。

ファームウェアを更新するには、次の方法があります：

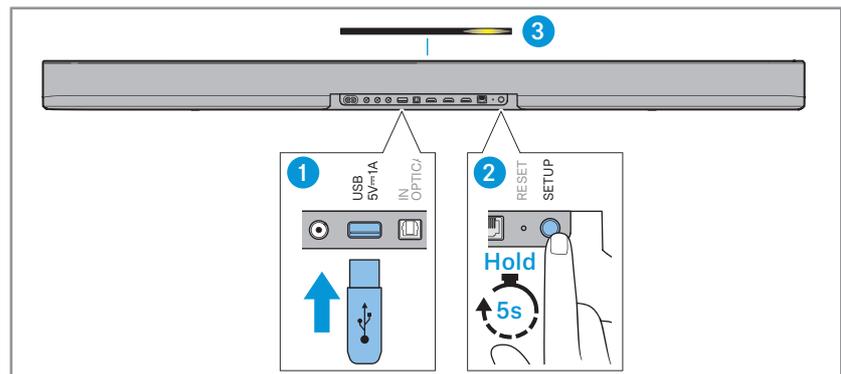
- Smart Control App の起動画面に出る **Update**（更新）ボタン（更新が利用可能なときのみ表示）
- 「Firmware」メニューの **Update**（更新）ボタン

USB メモリ経由で更新する

必要な USB メモリ：

- メモリ容量：1 GB
- USB A 接続部
- ファイルシステム：FAT

1. 名前が「image.swu」の更新ファイルを www.sennheiser-hearing.com/download のページからダウンロードして USB ステイックに保存してください。
ファイル名を変更してはいけません！
- ▷ サウンドバーをオンにします。
2. USB メモリをサウンドバーの USB ポートに差し込みます。



3. セットアップボタンを 5 秒押し続けます。
更新が開始され、LED バーが黄色くパルスに点灯します。
サウンドバーは更新中に何度も再起動します。このプロセスには最大 8 分間かかります。

サウンドバーのリセット

- ▷ サウンドバーをオンにします。

サウンドバーをリセットするには、次のことを行います：

- サウンドバーの全設定を工場出荷時設定にリセットします
- すべてのネットワーク接続をリセット
- スペースキャリブレーションの全データをリセット

サウンドバーを工場出荷時設定にリセット

サウンドバーを工場出荷時設定にリセットすると、ネットワーク設定およびスペースキャリブレーションのデータもリセットされます。

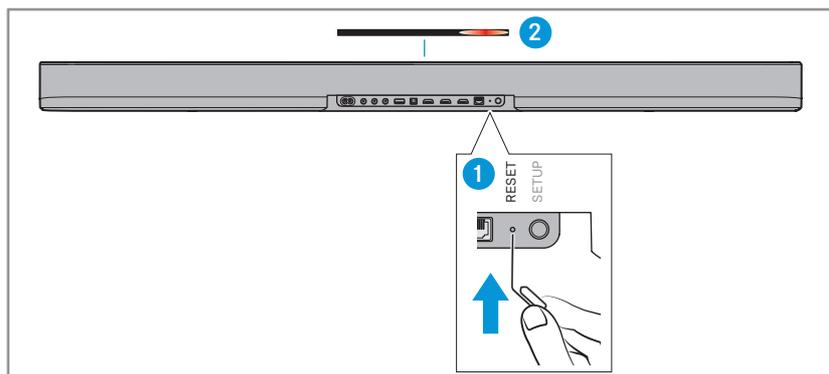
Sennheiser Smart Control App を使わずにサウンドバーを工場出荷時設定にリセットする方法：

- ▷ サウンドバー背面にある窪み **RESET** (リセット) にクリップ等を差し込んで、2 秒押し続けます。

Sennheiser Smart Control App でサウンドバーを工場出荷時設定にリセットする方法：

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **System** (システム) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストから **Reset** (リセット) を選択します。
- ▷ **Reset all settings** (すべての設定リセット) 部分の **Reset** (リセット) ボタンをタップします。

リセットの実行中は LED ステータスバーに赤白シーケンスが現れます。



ネットワーク接続のリセット

ネットワーク接続のリセットは Sennheiser Smart Control App がないとできません。

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **System** (システム) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストから **Reset** (リセット) を選択します。
- ▷ **Reset network settings** (ネットワーク設定リセット) 部分で **Reset** (リセット) ボタンをタップします。

スペースキャリブレーションのデータをリセットする

スペースキャリブレーションのデータは Sennheiser Smart Control App がないとリセットできません。

- ▷ Smart Control App の **Settings** (設定) 設定メニューで **System** (システム) ボタンをタップします。ドロップダウンリストが出ます。
- ▷ ドロップダウンリストから **Reset** (リセット) を選択します。

サウンドバーのお手入れとメンテナンス

- ▷ [Reset systemcalibration](#) (システムキャリブレーションリセット) の部分で [Reset](#) (リセット) ボタンをタップします。

よくあるご質問 / エラーが発生した場合

エラーが発生した場合は、エラーが修正され AMBEO サウンドバー システムが再び利用可能になるまで、以下のトラブルシューティングを順に行ってください：

1. サウンドバーまたはサブウーファーを電源から抜きます。少なくとも 10 秒待ってから、装置を再度電源に接続します (ページを参照してください 37)。
2. 最新ファームウェアをインストールするには、サウンドバーまたはサブウーファーを Sennheiser Smart Control App と接続します (ページを参照してください 39)。
3. よくあるご質問の一覧に障害解決方法がないかご確認ください (ページを参照してください 69)。
4. サウンドバーまたはサブウーファー を工場出荷時設定にリセットしてください (ページを参照してください 66)。
5. 製品のトラブルシューティングは、Sonova Consumer Hearing 取扱店にお問い合わせください (ページを参照してください 69)。

よくあるご質問 (FAQ) の最新リスト

AMBEO サウンドバー システム SB02 の製品ページをご覧ください

www.sennheiser-hearing.com/ambeo-soundbar-plus/

または

www.sennheiser-hearing.com/ambeo-soundbar-mini/

または

www.sennheiser-hearing.com/ambeo-sub/

そこには、よくある質問 (FAQ) の最新リストが掲載されています。

ご質問またはエラーが解決されませんか？

よくあるご質問に記載されていない問題が生じた場合、または記載されている対応策で問題を解決できない場合は、最寄りの Sonova Consumer Hearing 取扱店までお問い合わせください。

各国における取扱店は以下でご覧いただけます：

www.sennheiser-hearing.com/service-support

技術仕様

AMBEO サウンドバー | プラス モデル SB02M、SB02MC

チャンネル数	7.1.4
増幅器	D 級
全オーディオ出力	400 W (実効値)
全スピーカー数	9
ウーファー	2 個 (側面: 左右) Ø 10 cm/4 インチ セルローズダイヤフラム装備の円錐形 高出力インバースピーカー
広帯域チューナー	7 個 (側面: 左右、上: 左右、 前面: 右、中央、左) Ø 5 cm/2 インチ 円錐形アルミニウムダイヤフラム
周波数範囲	38 Hz ~ 20 kHz (-3 dB)
オーディオプロセッサ	クアッドコア SOC プロセッサ、1.8 GHz
スペースキャリブレーションと音声アシスタント用マイク	内蔵高感度ファーフィールドマイク 4 個
表示	LED ステータスバー AMBEO 表示 アクティブコーデックの表示 マイクオフ / WiFi ステータスの表示
電源プラグ	国によって異なります
供給電圧範囲	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
出力	最大 2 A
スタンバイ時消費電力	スタンバイ時: 1.9 W ネットワーク接続無しでのスタンバイ: < 0.5 W
温度範囲	動作時: 0 °C ~ +40 °C 保管時: -20 °C ~ +70 °C
相対湿度 (不凝縮性)	使用時 / 保管時: 10 ~ 90%
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	約 105.1 x 7.7 x 12.1 cm 足あり 約 105.1 x 7.5 x 12.1 cm 足なし
重量	約 6.3 kg
磁界強度	23.5 mT

AMBEO サウンドバー | ミニ モデル SB02S、SB02SC

チャンネル数	5.1.4
増幅器	D 級
全オーディオ出力	250 W (実効値)

全スピーカー数	6
ウーファー	2 個 (側面：左右、 Ø 10 cm/4 インチ 円錐形セルロースダイヤフラム)
広帯域チューナー	4 個 (側面：左右) 前面：左右) Ø 4 cm/1.6 インチ 円錐形セルロースダイヤフラム)
周波数範囲	43 Hz ~ 20 kHz (-3 dB)
オーディオプロセッサ	クアドコア SOC プロセッサ、1.8 GHz
スペースキャリブレーションと音声アシスタント用マイク	内蔵高感度ファーフールドマイク 4 個
表示	LED ステータスバー AMBEO 表示 アクティブコーデックの表示 マイクオフ /WiFi ステータスの表示
電源プラグ	国によって異なります
供給電圧範囲	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
出力	最大 2.5 A
スタンバイ時消費電力	スタンバイ時：1.9 W ネットワーク接続無しでのスタンバイ： :<0.5 W
温度範囲	動作時：0 °C ~ +40 °C 保管時：-20 °C ~ +70 °C
相対湿度 (不凝縮性)	使用時 / 保管時：10 ~ 90%
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	約 70 x 6.7 x 10.1 cm 足あり 約 70 x 6.9 x 10.1 cm 足なし
重量	約 3.56 kg
磁界強度	36.5 mT

入力 / 出力 AMBEO サウンドバー | プラス

HDMI TV (e)ARC	標準：HDMI eARC 2.1 制御：CEC 暗号化規格：HDCP 1.4 アクセサリ (外部装置) への電源供給：5 V?, 1 A
HDMI 1 IN HDMI 2 IN	標準：HDMI 2.0a 暗号化規格：HDCP 2.2 制御：CEC ビデオフォーマット：最大 4K (60 Hz)、Full HD、MHL 2.1 HDR フォーマット：Dolby Vision Pass-Through

OPTICAL IN	S/PDIF サポートされているサンプリングレート：最大 192 Hz
AUX IN L / R	RCA ステレオ端子
USB	USB ポートタイプ A、アクセサリ（外部装置）への電源供給 5 V?、1 A。更新サービスポート
イーサネット	RJ45 ポート、100/10 メガビット
サブウーファ SW Pre-OUT	モノ RCA 端子、最大 2 V

入力 / 出力 AMBEO サウンドバー | ミニ

HDMI TV (e)ARC	標準：HDMI eARC 2.1 制御：CEC 暗号化規格：HDCP 1.4 アクセサリ（外部装置）への電源供給：5 V?, 1 A
USB	USB ポートタイプ A、アクセサリ（外部装置）への電源供給 5 V?、1 A。更新サービスポート

WiFi AMBEO サウンドバー SB02

標準	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax
伝送システム	2 x 2 MIMO
送信周波数（国によって異なります）	2400 MHz ~ 2483.5 MHz 5170 MHz ~ 5835 MHz
変調 2.4 GHz バンド	CCK、DQPSK、DSSS 用 DBPSK 64QAM、16QAM、QPSK、OFDM 用 BPSK
変調 5 GHz バンド	1024-QAM、256-QAM、64QAM、16QAM、QPSK、BPSK
出力	100 mW (最大)

Bluetooth AMBEO サウンドバー SB02

バージョン	5.0 クラシック、BLE AMBEO Sub の接続用：5.2、Bluetooth Low Energy
送信周波数	2400 MHz ~ 2483.5 MHz
変調方式	GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK
プロファイル	A2DP, AVRCP, GATT
出力	10 mW (最大)
コーデック	AAC、SBC AMBEO Sub の接続用：LC3

ネットワークストリーミング、サービス、コントロール
AMBEO サウンドバー SB02

ネットワーク	イーサネット (AMBEO サウンドバー プラスのみ) WiFi
サービス	Chromecast 組み込み AirPlay 2 Spotify Connect Tidal Connect uPnP
音声アシスタント (地域による)	Alexa (内蔵) OK Google (操作)
コントロール / セットアップ	Sennheiser Smart Control App (iOS と Android に対応) ブラウザ (ホットスポット (「AMBEO サウンドバー [シリアルナンバー]」) およびこのアドレスからアクセス可能: http://192.168.255.249/ または (WiFi 接続済みであれば): http://ambeo)

ネットワーク - ストリーミングで再生可能なオーディオフォーマット
AMBEO サウンドバー SB02

オーディオフォーマット / Codec	拡張子
DSD	はい
MP3	はい
AAC/HE-AAC	はい
LPCM	はい
FLAC	はい
AIFF	はい
ALAC	はい
Vorbis	はい
Dolby Atmos Music	はい
Sony 360 Reality Audio	はい

対応しているオーディオ / サラウンドフォーマット
AMBEO サウンドバー SB02

オーディオフォーマット / Codec	HDMI (eARC)	オプティカル (光) *
LPCM 2 チャンネル	はい	はい
LPCM 5.1 チャンネル	はい	はい
LPCM 7.1 チャンネル	はい	はい
Dolby Digital	はい	はい
Dolby Digital Plus	はい	はい
Dolby True HD	はい	いいえ
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	はい	いいえ

Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	はい	はい
DTS	はい	はい
DTS-ES ディスクリート 6.1	はい	はい
DTS-ES Matrix 6.1	はい	いいえ
DTS 96/24	はい	はい
DTS-HD 高解像度オーディオ	はい	いいえ
DTS-HD Master Audion	はい	いいえ
DTS-HD LBR	はい	いいえ
DTS:X	はい	いいえ
MPEG-H (Fraunhofer (フラウンホファー))	はい	はい
Dolby Atmos Music	はい	いいえ
Sony 360 Reality Audio	はい	はい

*AMBEO サウンドバー | プラスの場合のみ

リモコン モデル SB02-RC

伝送	赤外線
通信可能範囲	約 8 m
電源	セル電池、タイプ CR2032、3V

AMBEO Sub モデル SW02

増幅器	D 級
全オーディオ出力	350 W (実効値)
全スピーカー数	1
ウーファー	Ø 20 cm/8 インチ 円錐形ロングストローク・セルロース ・ダイヤフラム
周波数範囲	27 Hz ~ 80 Hz (-3 dB)
電源プラグ	国によって異なります
供給電圧範囲	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
出力	最大 2.5 A
スタンバイ時消費電力	ワイヤレスモード：< 1.9 W 有線モード：< 0.4 W
温度範囲	動作時：0 °C ~ +40 °C 保管時：-20 °C ~ +70 °C
相対湿度 (不凝縮性)	使用時 / 保管時：10 ~ 90%
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	約 27.7 x 36.9 x 27.4 cm
重量	約 8.2 kg
磁界強度	2 mT
Bluetooth バージョン	5.2、Bluetooth Low Energy
送信周波数	2400 MHz ~ 2483.5 MHz
変調方式	GFSK
出力	10 mW (最大)

技術仕様

コーデック	LC3
通信可能範囲	10 m まで

製造者宣言

保証

Sonova Consumer Hearing GmbH では本製品 24 ヶ月間保証します。実際の保証条件については、弊社ウェブサイト www.sennheiser-hearing.com/warranty をご覧になるか、または、お近くの Sonova Consumer Hearing 取扱店までお問い合わせください。

以下の要件に準拠しています

EU 適合宣言



- RoHS 指令 (2011/65/EU)
- ErP 指令 (2009/125/EC)

Sonova Consumer Hearing GmbH は、無線システム型式 SB02M、SW02 が無線システム指令 (2014/53/EU) に準拠することを宣言します。

EU 適合宣言書の全内容は以下のウェブサイトでご参照になれます (www.sennheiser-hearing.com/download)。

英国適合宣言



- RoHS 規制 (2012)
- エネルギー関連製品のエコデザインとエネルギー関連情報 (改訂版)(EU 脱退による) 規則 (2019)
- 無線機器規制 (2017)

廃棄に関する注意



- EU：バッテリー指令 (2006/66/EC & 2013/56/EU)
- EU：WEEE 指令 (2012/19/EU)
- UK：バッテリー規制 (2015)
- UK：WEEE 規制 (2013)

製品、バッテリー (該当する場合)、および梱包に記載されているキャスター付のゴミ箱に?印をした図は、これらの製品が耐用年数を過ぎても通常の家庭用廃棄物として処分できず、分別廃棄しなければならないことを示しています。梱包については、お住まいの国の廃棄物分別に従ってください。梱包材を不適切に廃棄すると、健康や環境に害を及ぼす可能性があります。

廃電気および電子機器、バッテリー (該当する場合)、および梱包を分別して回収することで、再利用やリサイクルを促進し、これらの製品に含まれる潜在的な危険物質などがお客様の健康や環境に悪影響を及ぼすことを防ぎます。電気および電子機器やバッテリーは、リサイクル可能な材料を利用して、耐用年数の終わりには環境に配慮してリサイクルしてください。

バッテリーを破壊せずに取り出せる場合は、別途廃棄する義務があります(バッテリーの安全な取り出し方については、製品の取扱説明書を参照してください)。リチウム電池/バッテリーは、火災やボタン電池の飲み込みなどの危険があるため、特に慎重に取り扱ってください。耐用年数の長いバッテリーや充電式バッテリーを使用することで、バッテリーからの廃棄物の発生を可能な限り抑えてください。

これらの製品のリサイクルに関する情報については、お住まいの地域当局、自治体の収集、またはお近くの Sonova Consumer Hearing 取扱店までお問い合わせください。また、電気および電子機器を引き取り義務のある販売店に返品することもできます。こうした廃棄方法に従えば環境や公衆衛生の保護に重要な貢献をすることになります。

商標

Amazon, Alexa and all related marks are trademarks of Amazon.com, Inc. or its affiliates. Alexa is not available in all languages and countries. Alexa features and functionality may vary by location.

Apple, iPhone, the Apple logo and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. App Store is a service mark of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K..

Android, Google play, Google play logo, Google Chromecast built-in and Google Home are trademarks of Google LLC.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sonova Consumer Hearing GmbH is under license.

Manufactured under license from Dolby laboratories. Dolby, Dolby Atmos, Dolby Vision and the Double-D symbol are trademarks of Dolby laboratories.

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS:X, and the DTS:X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

The MPEG-H TV Audio system logo is a trademark or registered trademark of Fraunhofer IIS in Germany and other countries.

upHear is a trademark or registered trademark of Fraunhofer IIS in Germany and other countries.

The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

The Spotify Software is subject to third party licenses found here: <https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>. Use your phone, tablet or computer as a remote control for Spotify. Go to [spotify.com/connect](https://www.spotify.com/connect) to learn how.

ユーザー文書に記載されている他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標である場合があります。